

柳井お宝マップ





● 余田地区 (人口1,490人)

市西部にある田園地帯。地区南部にある余田臥龍梅は国の天然記念物に指定されており、地区住民による維持が行われている。4月はじめの名合八幡宮春祭りにあわせ、「余田まつり」が開催されている。



● 新庄地区 (人口4,432人)

市西部にある田園地帯と住宅地が混在している地区で、北部には柳井ウェルネスパークややまぐちフーランドがある。17世紀に岩政次郎右衛門によってつくられた長溝は地区的シンボルで、8月19日に長溝祭が行われている。

「この地図は、柳井市長の承認を得て平成9年3月、平成14年12月作成の柳井市都市計画図及び地形図を使用したものである。(承認番号平成18年2月8日柳都第79号)」

0 1 2 3 4km

2020.5修正

柳井お宝マップ

制作 豊笑家俱楽部 2006.2

● 平郡地区 (人口281人)
県内最大の有人離島で、みかん、タコ、ひじきなどの産地として知られる。一帯は好漁場で、県内外から多くの釣り客が訪れる。

地区別の人口は、2020(令和2)年4月30日現在の住民基本台帳人口。



● 伊陸地区 (人口1,565人)

市北部の盆地にある地区。朝晩の気温差が大きく、「伊陸米」の産地として有名である。県道、農道沿いには朝市が立ち並び、日曜を中心多くのお客が訪れる。4月3日直前の日曜には伊陸天神祭(通称「牛天神」)が催される。



● 日積地区 (人口1,373人)

市北東部の山間部にある地区。ぶどうの産地として知られ、8月中旬から9月中旬にかけ、昔ながらの味が楽しめる。9月1日直前の土曜には、大帶姫八幡宮境内で「入潮踊り」が催される。



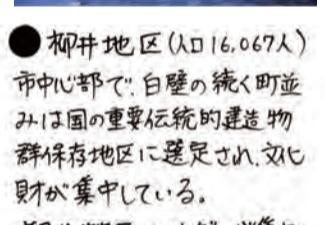
● 大島地区 (人口2,749人)

市東部の海岸線沿いにある地区で、大島大橋の架かる大島瀬戸は日本三大潮流のひとつに数えられている。幕末に活躍した僧月性で有名である。旧暦8月23日に行われる俄祭りは、海に御輿ごと入れてもみあう勇壮な祭りである。



● 伊保庄地区 (人口2,811人)

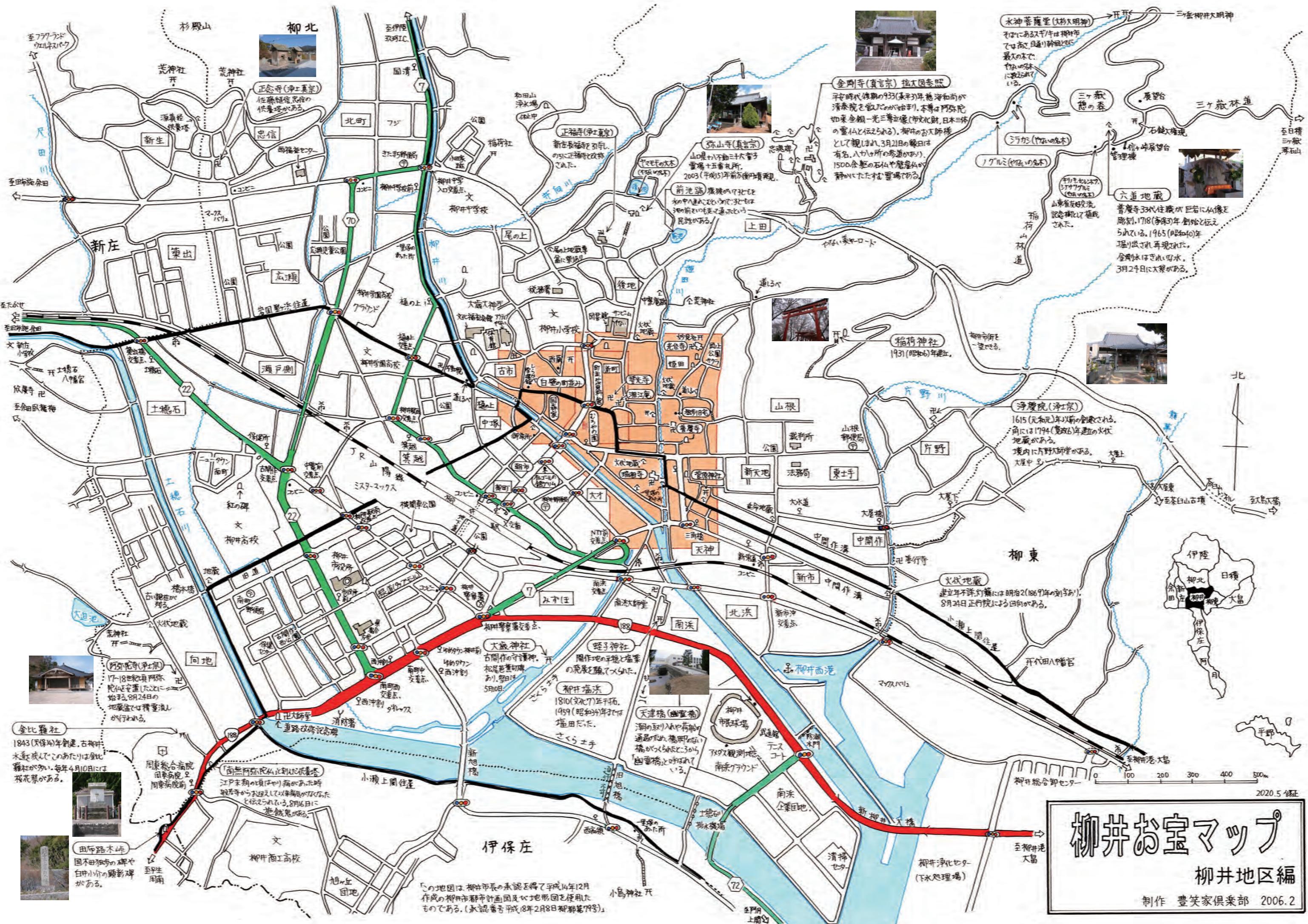
市南部の室津半島にある地区。サザンセト伊保庄マリンパークは夏の海水浴シーズンを中心に一年中訪れる客が多い。4月には柳井南小学校周辺で「いほのしょう春まつり」が開催されている。



● 阿月地区 (人口673人)

市南部、室津半島南部にある地区で、明治維新に参画した人材を輩出した場所として知られる。2月11日の阿月神明祭は勇壮な火祭りで、国の重要無形民俗文化財に指定されている。

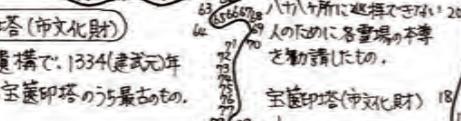






金剛寺(真言宗)

平安時代後期の933(承平3年)慈海和尚が清泰院(くわいじ)と名を喰んだのが始まり。1312(正和元年)大内重弘が弘法大师の遺跡を再興し、七堂伽藍及び十二坊を造営した。現在の寺名には、元は1695(元禄8年)3月21日の縁日に有名櫻やモミジで美しい寺。



78

卷之三



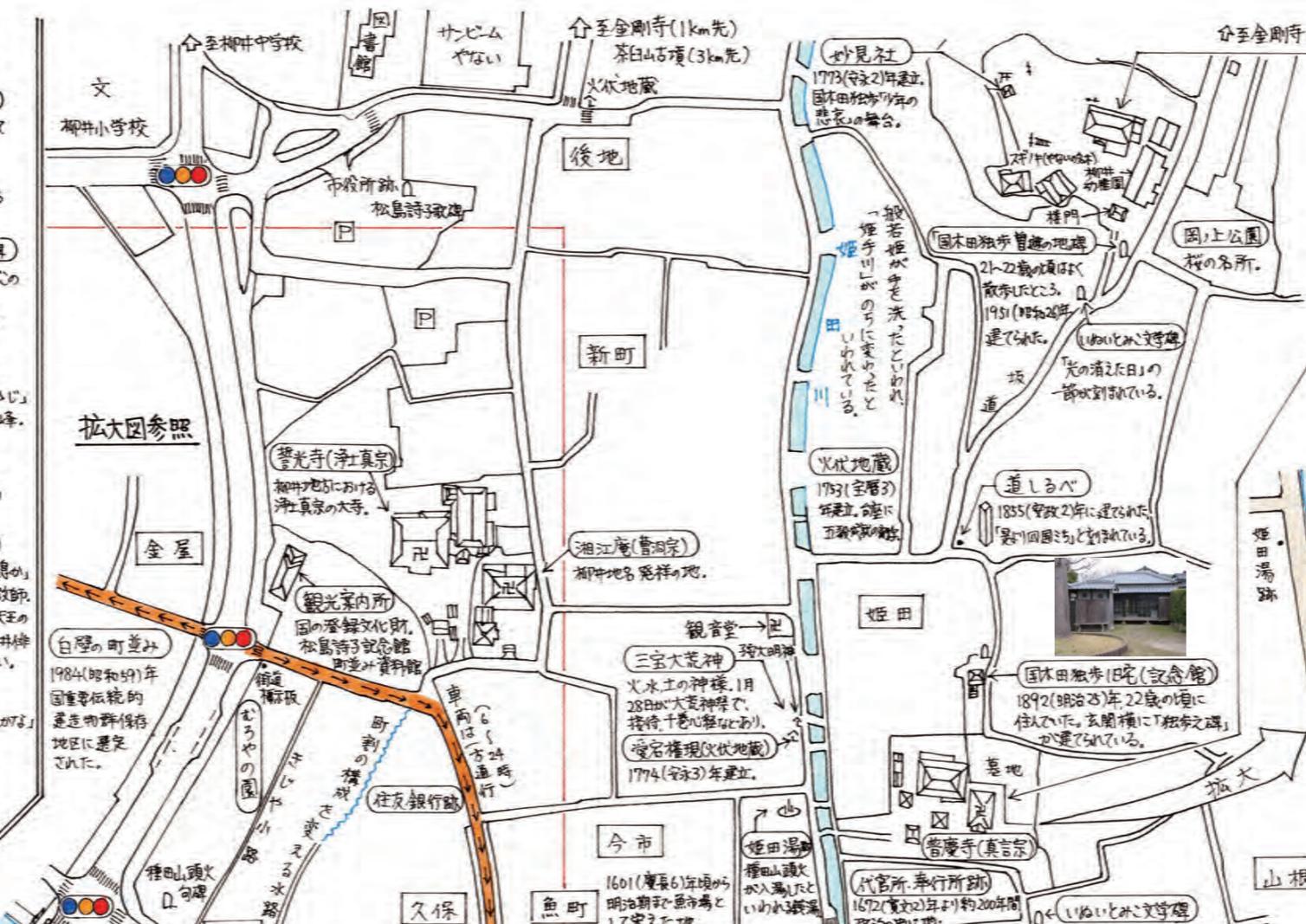
瑞相寺(淨土宗)

1516(永正13)年、法華祐西が
して開山したといわれている。

松尾芭蕉の流れをくむ柳井正
をつくった漸や軒東明の句碑など
ある。また、江戸時代柳井の発
展商や先首若の墓碑が100点



木造地蔵尊をまつる。



拡大図参照



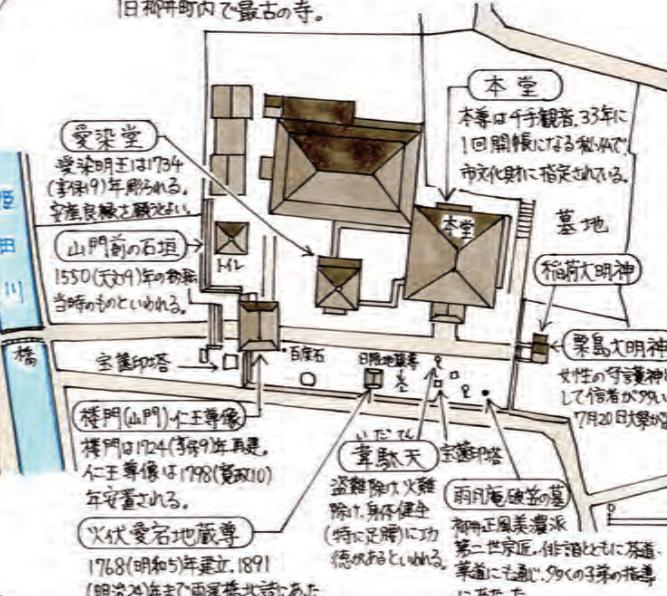
（先）歩合率（着壁率）

鶴洲淨玄が1764(宝曆14)年開山したと伝え
楼門は中国明朝様式を模したもので、1869
(明治2)年再建。楼門の下で手をたたくと
ワンワンと反響するところから、「めんめん寺」と
呼ばれている。



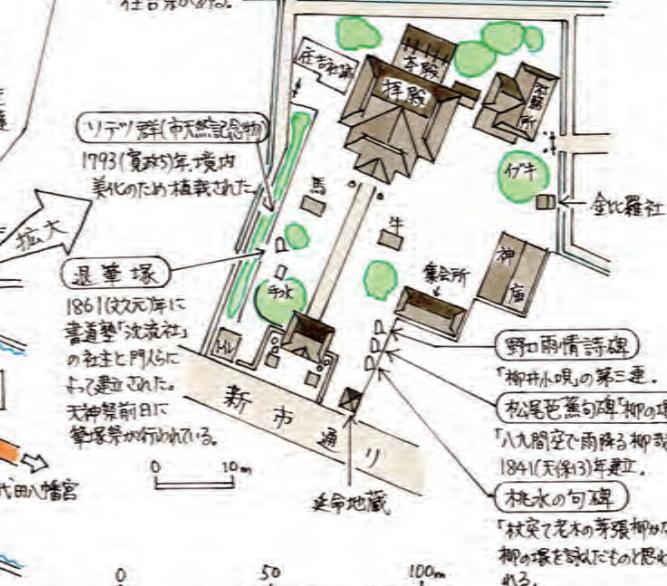
普慶寺(真言宗)

831(天長8年)弘法大師が真言開宗のため
この地に流れ、観音平(現稻荷山)に陽山と
いわれ、1550(天文19年)現在地に移る。



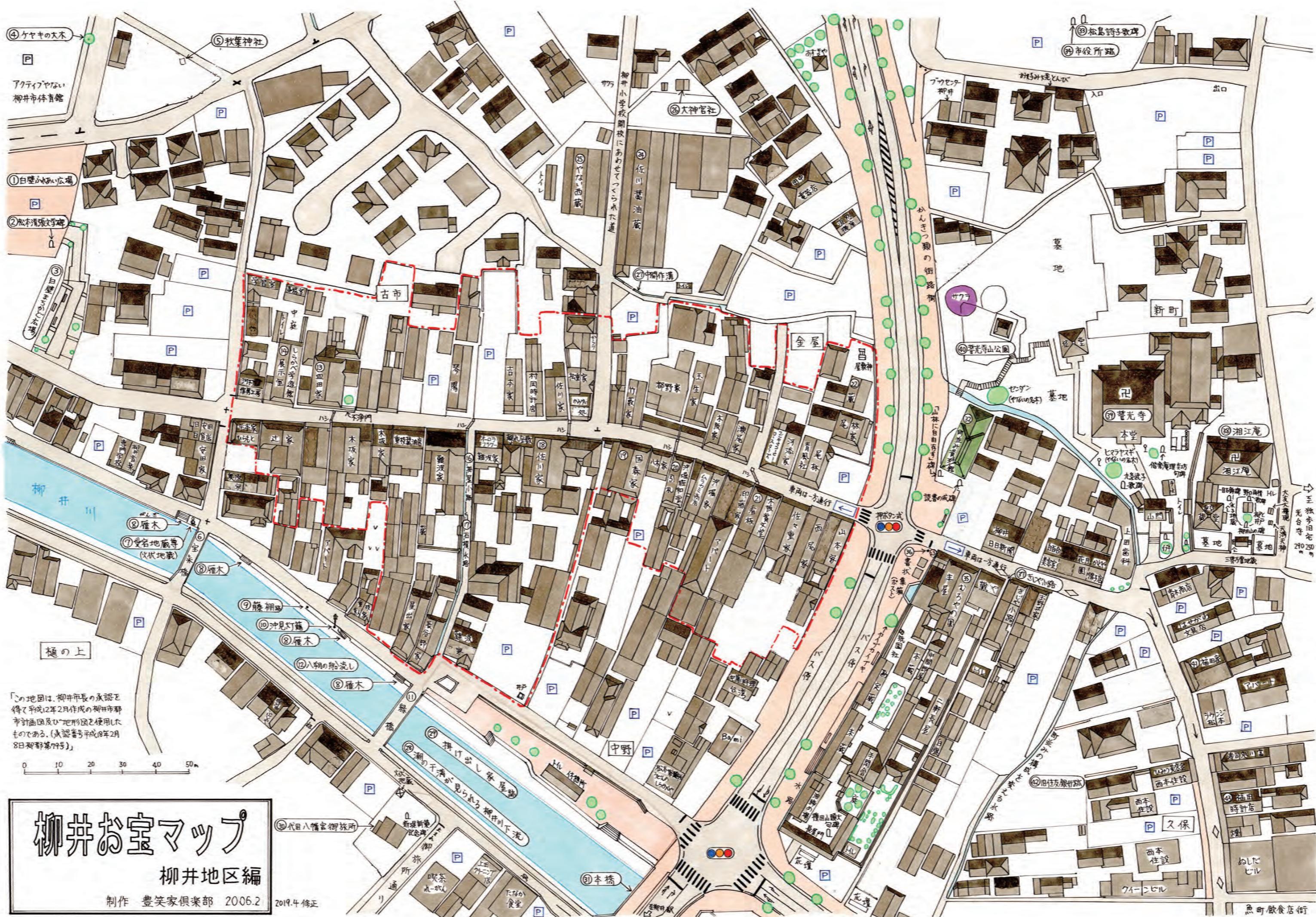
菅原神社(柳井天満宮)

景下三大天神の一つ。1689年(元禄2年)、貞末
宗故城大阪の天満宮へ参詣した時履いていた
木履の齒にはさまたて菅公の像を持ち帰ったの
が始まり、4月25日に近田屋町には天神祭、
7月27-28日に
は本祭がある。



柳井お宝マップ

制作 豊笑家但楽部 2006.2



「この地図は、柳井市長の承認を得て平成12年2月作成の柳井市郷市計画図及び地形図を使用したものである。(承認番号平成12年2月8日柳井第79号)」

柳井お宝マップ

柳井地区編

制作 豊笑家俱楽部 2006.2

2019.4修正

柳井市古市・金屋伝統的建造物群保存地区(白壁の町並み)

1984(昭和59年)、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。柳井の町並みの特徴は、江戸時代から明治中期以前に建てられた本瓦葺や檜瓦葺の2階建てで、外壁や軒裏と白漆喰で塗り込めた土蔵造りの町家である。最も本流を守っている形式は入母屋造りの妻入りであり、切妻造りの妻入り、平入りも混在している。

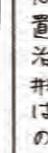
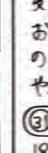
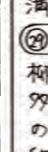
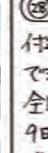
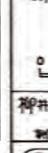
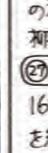
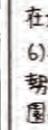
①白壁ふれあい広場

白壁の町並みの玄関口として1988(昭和63年)オーパン。観光大型バスの駐車場、休憩所、トイレ等を設置している。



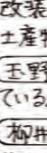
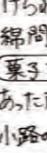
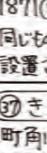
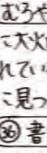
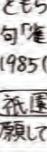
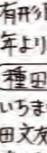
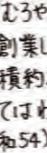
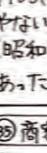
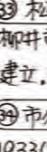
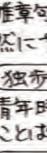
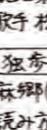
⑬琴泉酒造、皿田家

皿田家の初代千蔵は、1812(文化9年)木崎商を始めたが、1837(天保8年)に酒造業を始めた。「魁寿」の名で知られる。新酒の出来る2月頃には松玉が新しくなる。皿田家住宅は1908(明治41年)建築。横にある不淨門は当主がそくばくした時遺体を運び出す時以外に開かれることがない。



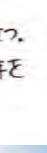
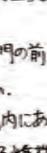
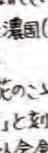
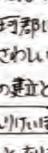
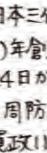
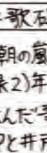
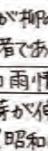
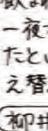
⑭佐川醤油蔵

1904(明治37年)に遠崎の秋元酒場から桶とともに移築されたもの。醤油蔵の一部が資料館として公開されている。醤油づくりの道具や往年の高い資料が展示しており、時期によっては豆みなどの実際の醤油づくりを見学可能。



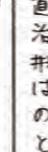
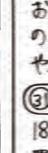
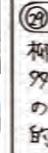
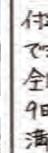
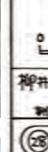
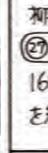
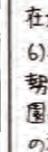
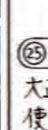
⑮柳井市町並み資料館(旧周防銀行本店、国登録有形文化財)

県内最古の銀行建築で、1907(明治40年)建築。長野宇平治の基本設計、佐藤節雄の実施設計。旧周防銀行は1898(明治31年)に設立した銀行で、建築当時は県内最大の銀行だった。1998(平成10年)に山口銀行より寄贈を受け、2000(平成12年)復元改修された。1階は観光案内所とすると学習施設、2階は日種出身の歌手松島詩子(1905~96年)の記念館となる。



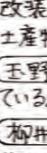
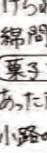
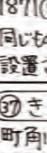
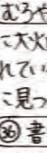
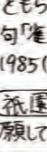
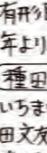
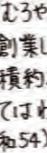
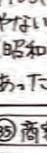
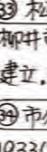
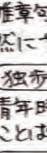
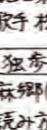
⑯やない西蔵

大正時代末期に建築。1980年頃まで醤油蔵として使用されていた。解体の危機により住民による保存運動が行われ、1998(平成10年)所有者より寄贈を受け、2001(平成13年)に体験工房、ギャラリー等の複合型観光施設として生まれ変わった。



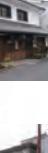
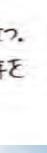
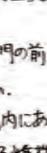
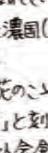
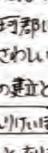
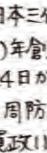
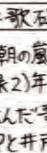
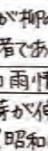
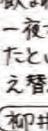
㉐大神宮社

建立年代不明。もとは湘江庵東側にあったが、現在地に移築されたのは1908(明治41年)。1859(安政6年)造営の神殿が今も残る。旧暦5月14日の夜「伊勢堂のビワ祭り」としてにぎわっており、ひょうやの園の古文書「奉納俳諧集」には、俗樂庵理圭坊の社中が大神宮社の祭りの時に奉納したもので、柳井の町人文化のひとつ。



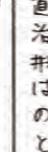
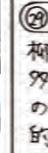
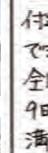
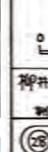
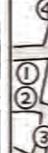
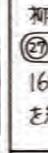
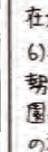
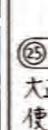
㉑市役所跡(襄都路通りに建設当時の絵があり)

1933(昭和8年)に完成した旧柳井町役場の新庁舎で、今のサンビームやない駐車場付近にあった。1954(昭和29年)市役所となり、1984(昭和59年)に南町に現庁舎が完成するまで、柳井市役所の庁舎であった。現在の市役所隣に模型が展示している。



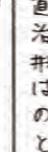
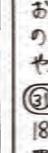
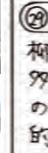
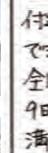
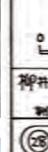
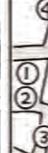
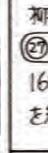
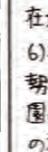
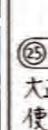
㉒中間作溝(柳井と柳井津をつなぐ木路)

1689(元禄2年)に落成(柳井小学校そば)と新市を結ぶ用水路が完成し、かんがい用に使われていた。



㉓商家博物館「むらやの園」(小田家住宅)

「むらやの園」は、屋号を「室屋」とし、1688(元禄元年)創業した油商だった。南北119m(道路拡幅前)、面積約2400m²もあり、江戸時代の現存する商家としては我が国で最大規模といわれている。1979(昭和54年)、生活用品1533点、文書1011点とともに山口県有形民俗文化財に指定された。1980(昭和55年)より、町家の内部と商家資料を公開している。



㉔種田山頭火句碑

「まつ旅人にはあたらいいわれい いちまい」1939(昭和14年)むらやの園裏にあった書店「藤田文友堂」に一泊し、翌朝文友から新しい「わくわく」一枚と弁当をもって旅立ち時に詠んだ句。背後には藤田文友の句「駕けたましくて煙が青し」が刻まれている。1985(昭和60年)、柳井市郷談会によって建立された。

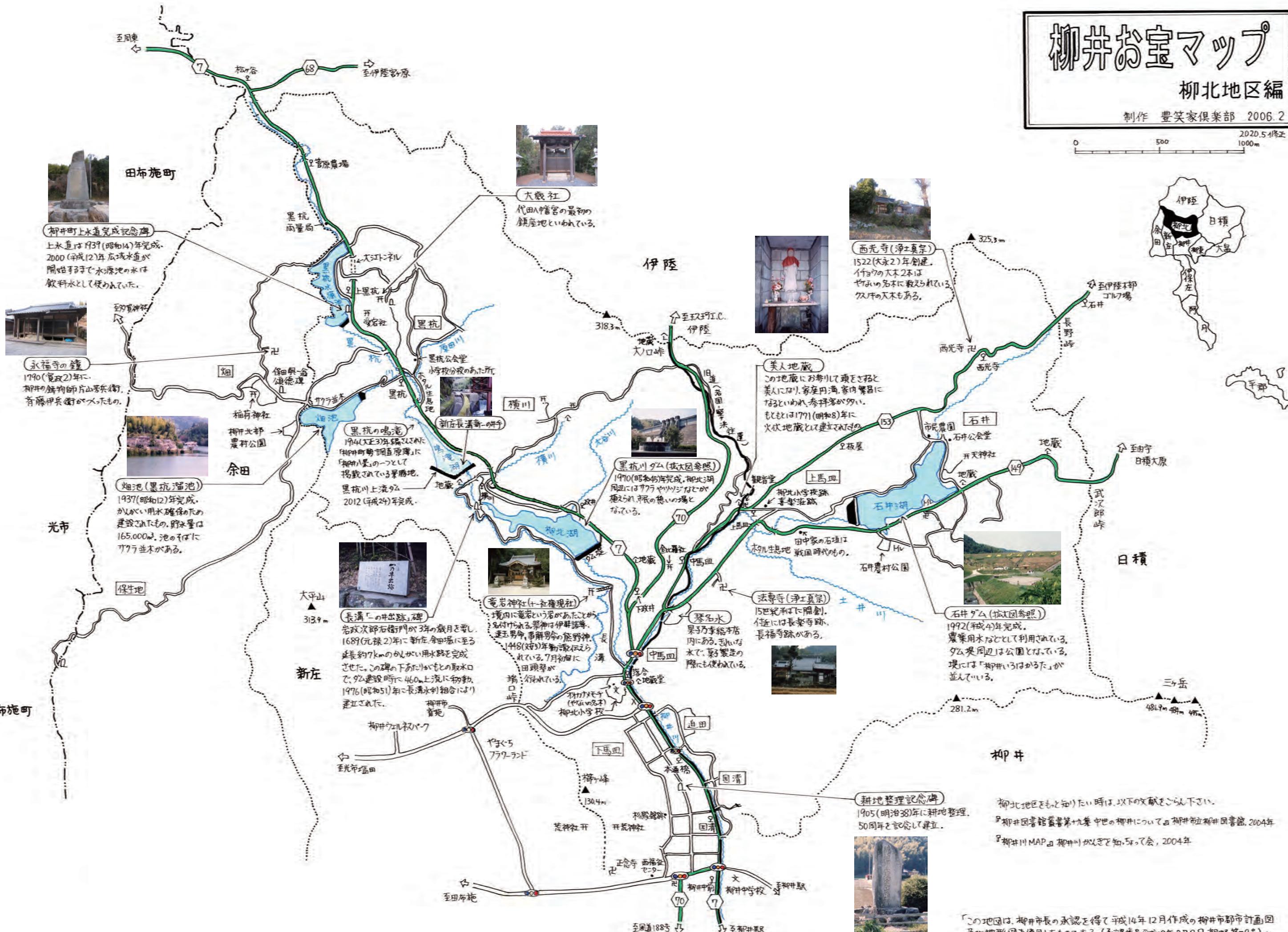
柳井お宝マップ

柳北地区編

制作 豊笑家俱楽部 2006.2

2020.5修正

A horizontal scale bar with tick marks every 100 meters, labeled from 0 to 1000 m.



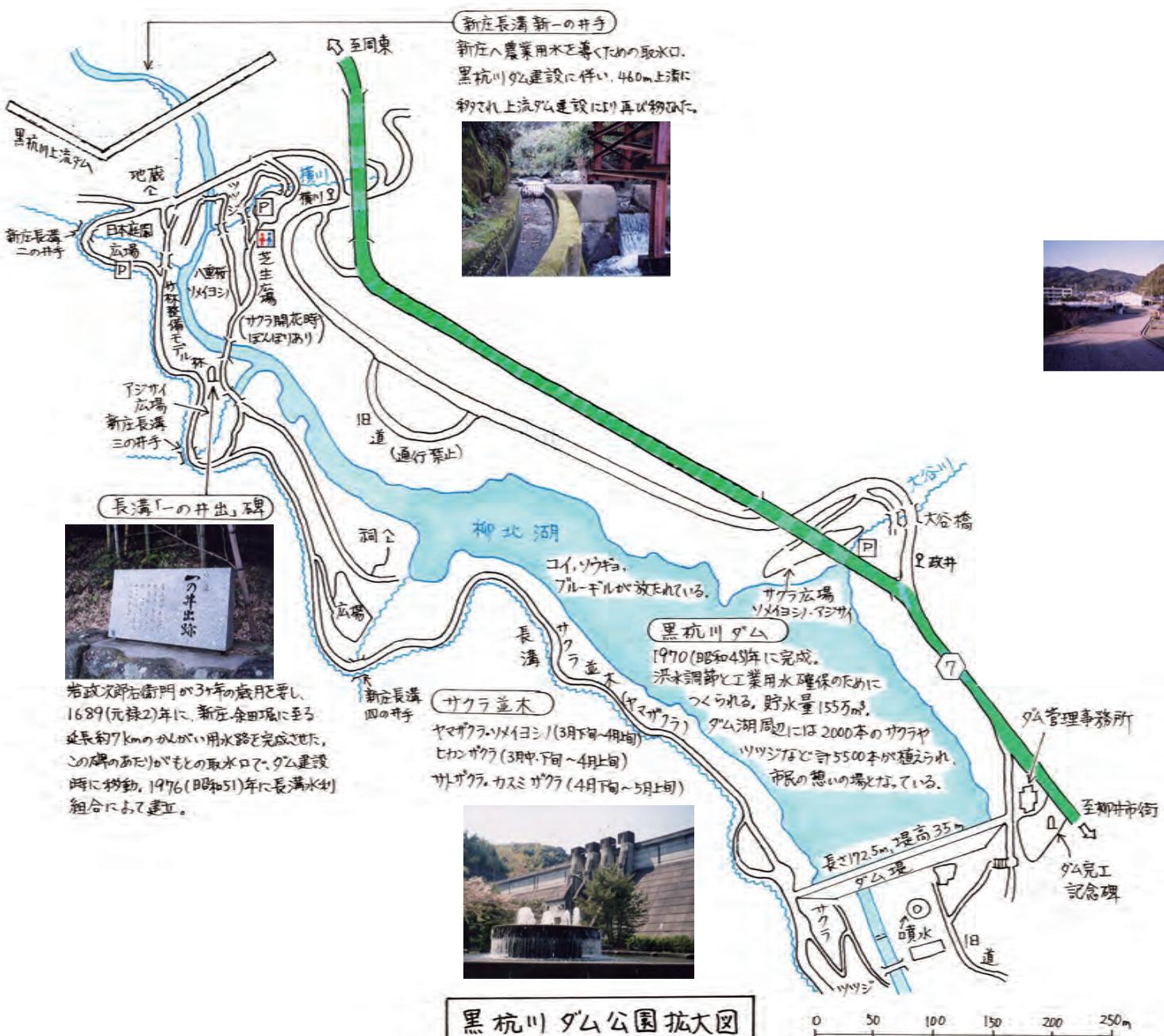
柳井お宝マップ

柳北地区編

制作 豊笑家俱楽部 2006.2

この地図は、柳井市長の承認を得て平成12年2月作成の柳井市都市計画図及び地形図を使用したものである。(承認番号平成18年2月8日御部第79号)

2020.5修正



柳井お宝マップ

柳東地区編

制作 豊笑家俱楽部 2006.2

2020.5 修正

0 500m



金剛寺(真言宗)
平安時代後期の933(承平3)年
慈海和尚が清泰院を管んだのが
始まり。本尊は阿弥陀如来
金銅・光三尊立像(市文化財)
日本三体の重仏と伝えられる。
柳井のお大師さまとして親しまれ、
3月21日の縁日は有名。
八十九ヶ所の参道があり、1500余
軒の石仏や磨崖仏が静かに
たたずむ靈場である。



水神菩薩堂(大杉大明神)
そばにあるスギノキは、柳井市
では高さと周囲で最大の木で、やまの名木に
数えられている。

六道地蔵
普賢寺33代住職が巨岩に
仏像を彫刻し、1718(享和3)年
創始と伝えられている。1965.
(昭和40)年掘り出され、
再現された。金剛氷はさわ
いけ氷水、3月24日に大祭
がある。

原公園
宮本に住んでいた原庄一(1877~1975)は
ほかの人とともに茶臼山古墳を発見したこと
で有名。1951(昭和26)年の台風で水田が
破壊されたが、それを利用し、桜、つづじの
公園を完成させた。

茶臼山古墳(国史跡)
全長90mの前方後円墳で、4世紀末~5世紀
はじめの築造。直径44.8cmある單頭双胞怪獣鏡
は古墳から出土したものでは日本有数大きさで、
四神四獸鏡とともに東京国立博物館に
所蔵されている。現在は古墳公園として
整備されている。

琴石山
標高545.0m
古くから名山といわれ、山口県の自然百選、市内
小・中・高校の校歌にも歌われている。県内外
からの登山客が多い。
中世に山城があり、事能要塞といわれる。
伝説や民話の多い山。
ヤブツバキの群生地や巨大ヤマガクラ、アギダ
の木などがある。頂上に野口雨情の詩碑がある。



① 山城(事能要塞)
本丸(897m)、二の丸(100m),
西の丸(1260m)、堀切、東郭、
東郭Ⅱなどがある。

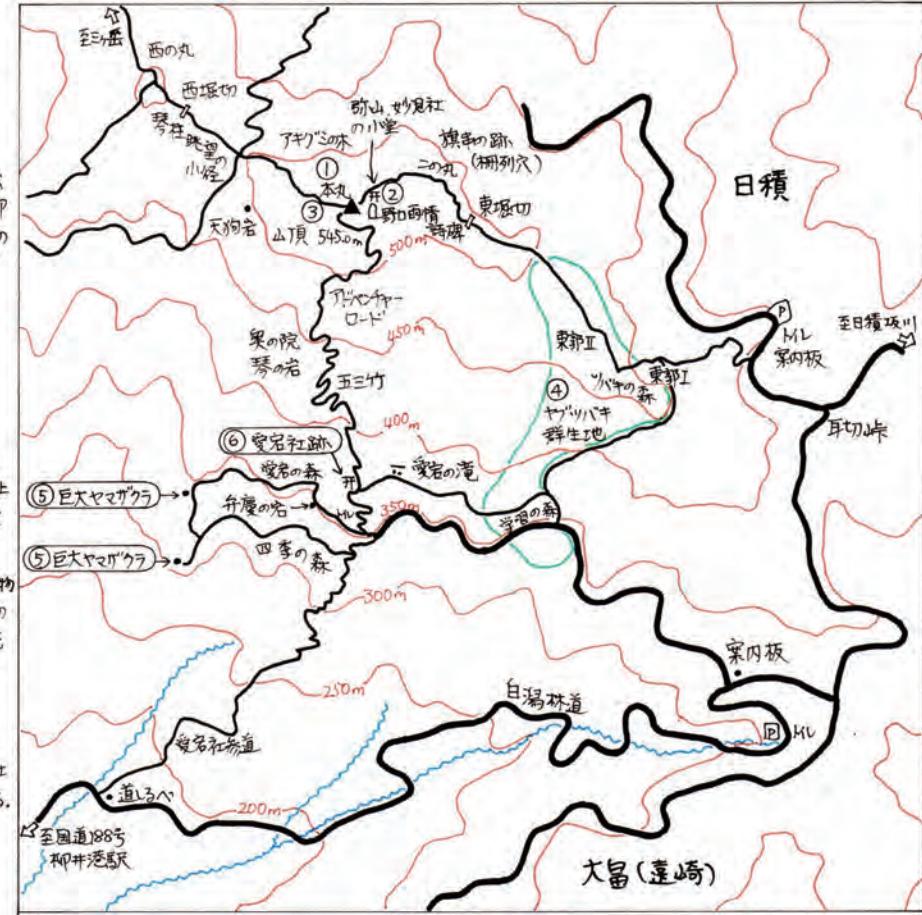
② 野口雨情詩碑
1989(平成元)年柳井市郷土懇談会
により建立。1935(昭和10)年某都
した時作詩した「柳井小唄」の
ひとつ、「夏は琴の緑の風が
柳井町中にそよそよ」と

③ アギダの木
頂上にある樹高約5m、
根回り2.4mの木。

④ ヤブツバキ群生地
山頂周辺6ヶ所に分布する。
面積31,100m²、5000株以上
といわれ、県内でも大規模な
群生地。

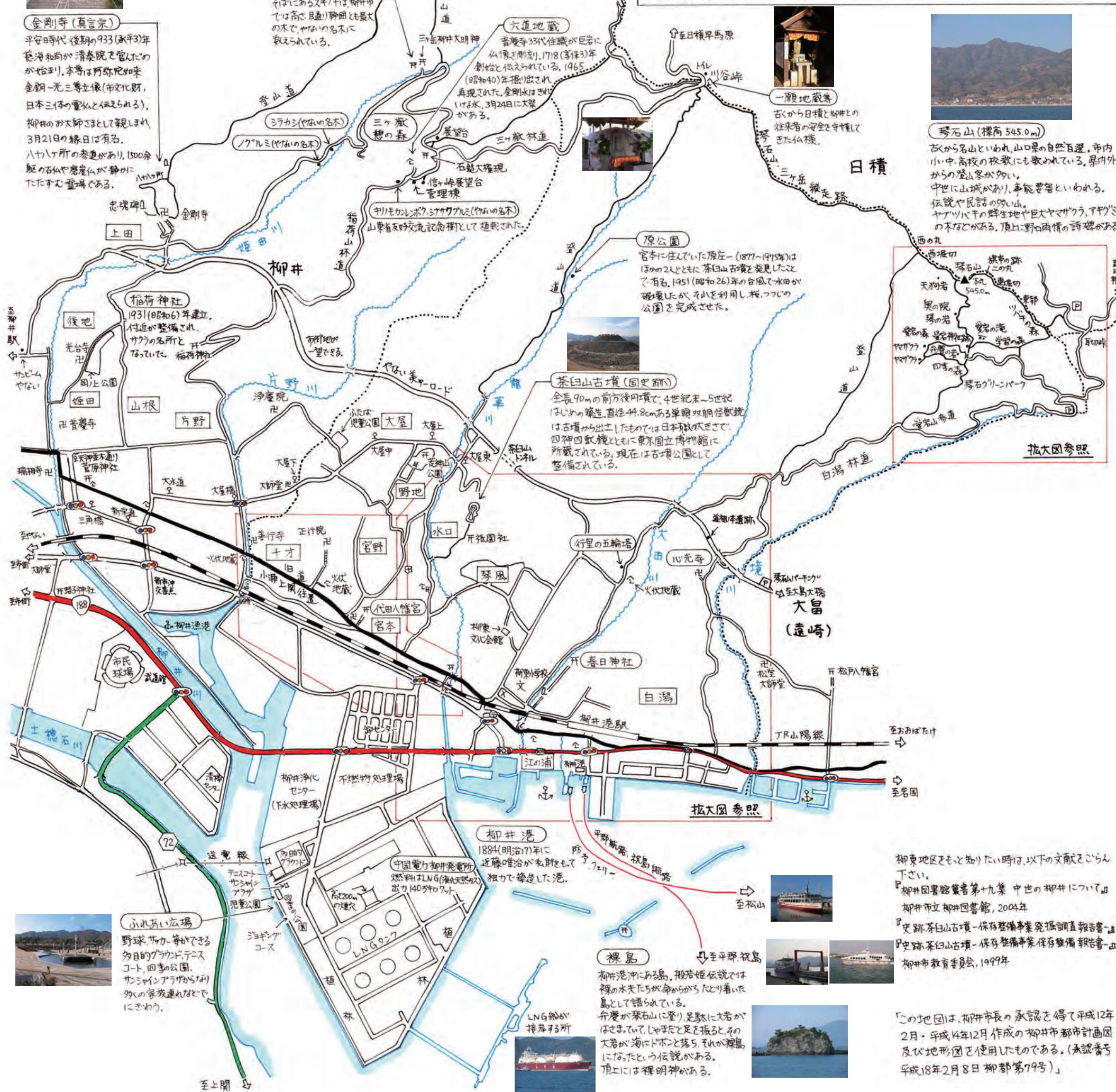
⑤ ヤマガクラ
天然記念物
白湯の住民の方が植えたもの
が育ち、巨木になった。4月に花
を咲かせる。根回り5~7m、
高さ25mもある。

⑥ 爰宕社跡
火代の神で、現在は春日神社
にある爰宕社に鎮座している。



琴石山拡大図

0 100 200 300m



柳東地区をもと知りたい時は、以下の文献をごらん
下さい。

『柳井図書館叢書第十九集 中世の柳井について』
柳井市立柳井図書館、2004年

『史跡茶臼山古墳-保存整備事業実施調査報告書』
『史跡茶臼山古墳-保存整備事業実施報告書』
柳井市教育委員会、1999年

この地図は、柳井市長の承認を得て平成12年
2月・平成14年12月作成の柳井市都市計画図
及び地形図を使用したものである。(承認番号
平成18年2月8日 柳井市第79号)

柳井お宝マップ

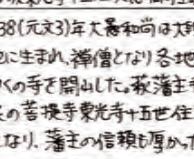
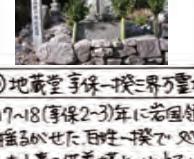
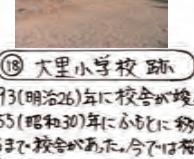
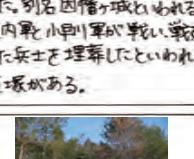
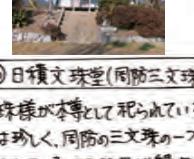
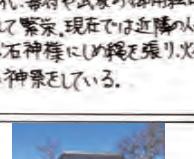
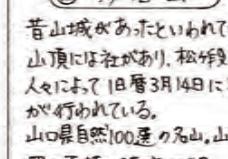
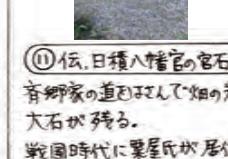
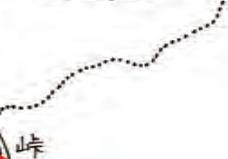
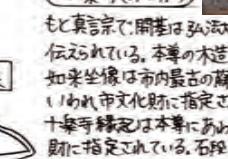
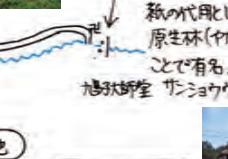
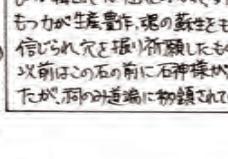
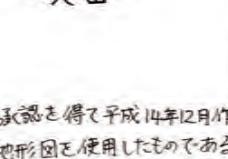
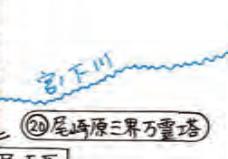
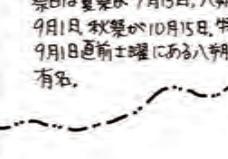
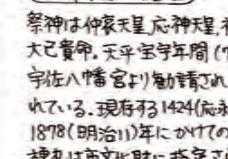
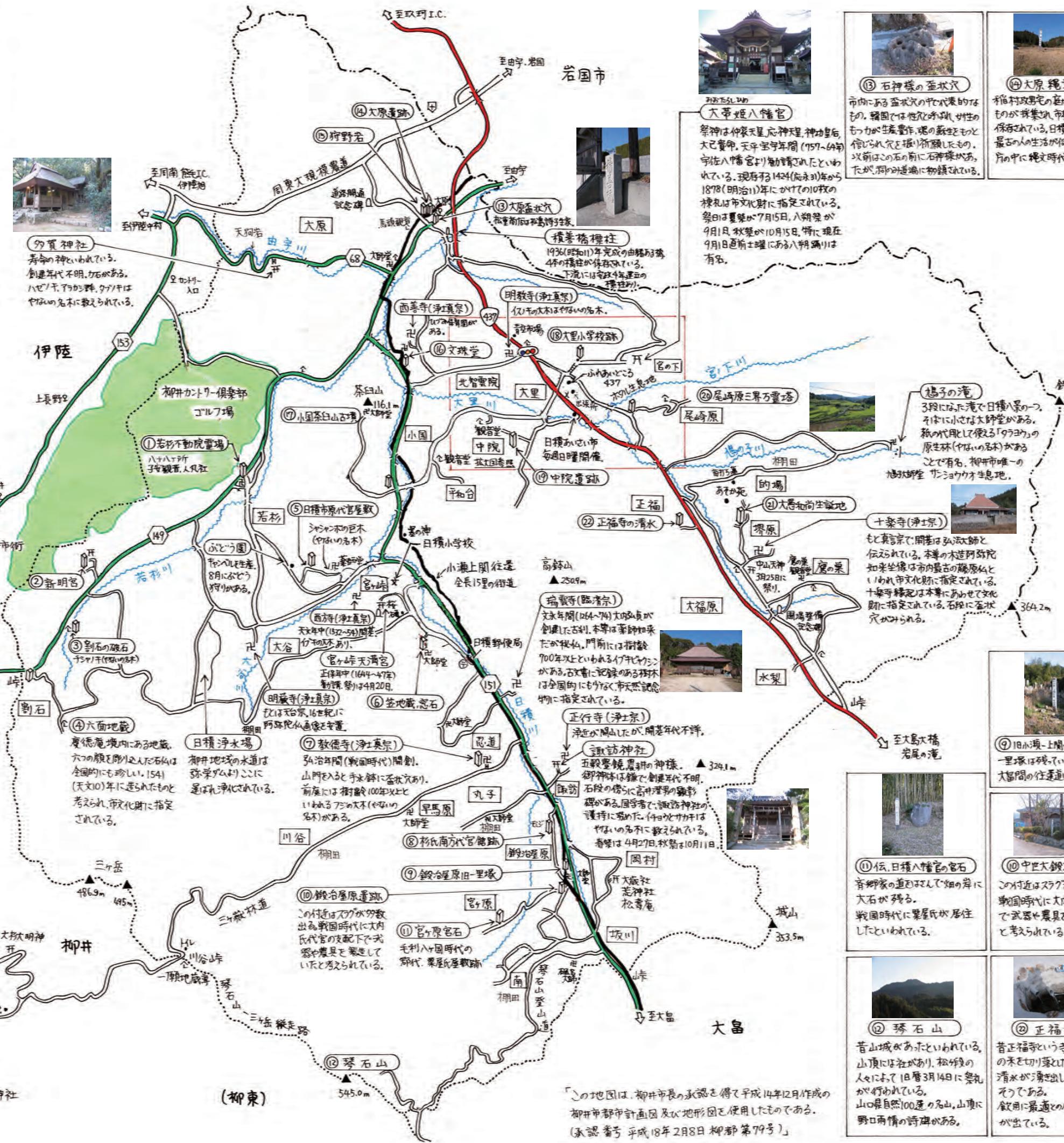
日積地区編

制作 豊笑家俱樂部 2006.2

2020.5修正
1000m



日積ふるさと歴史会が設置した
22か所の標柱・案内板のある所。



柳井お宝マップ

伊陸地区編

制作 豊笑家俱樂部 2006.2

2018.7 緯正
0 500 1000m



① フリーマーケット(木部)
日曜 7:00頃~12:00頃



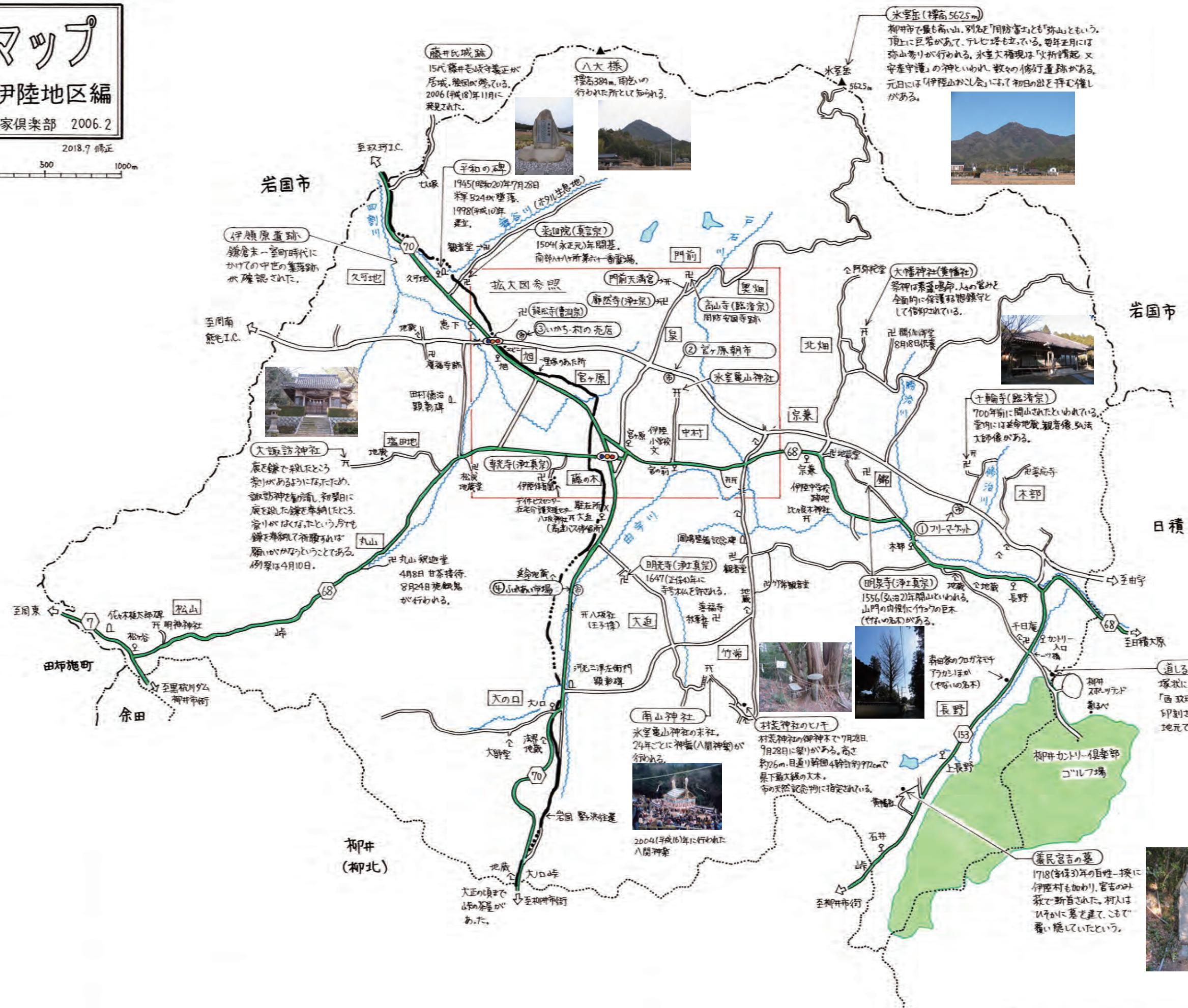
② 宮ヶ原(朝市)(宮ヶ原)
土曜・日曜 7:00~12:00



③ いちら-村の売店(旭)
毎日(夏は月曜) 朝日市開店(12時
休日) 9:00~12:00
土曜・日曜 9:00~15:00



④ 下れあい市場(下大口)
水曜・日曜 6:00~11:00



「この地図は、柳井市長の承認を得て平成14年12月作成の柳井市都市計画図及び地形図を使用したものである。(承認番号平成18年2月8日柳都第79号)」

柳井お宝マップ

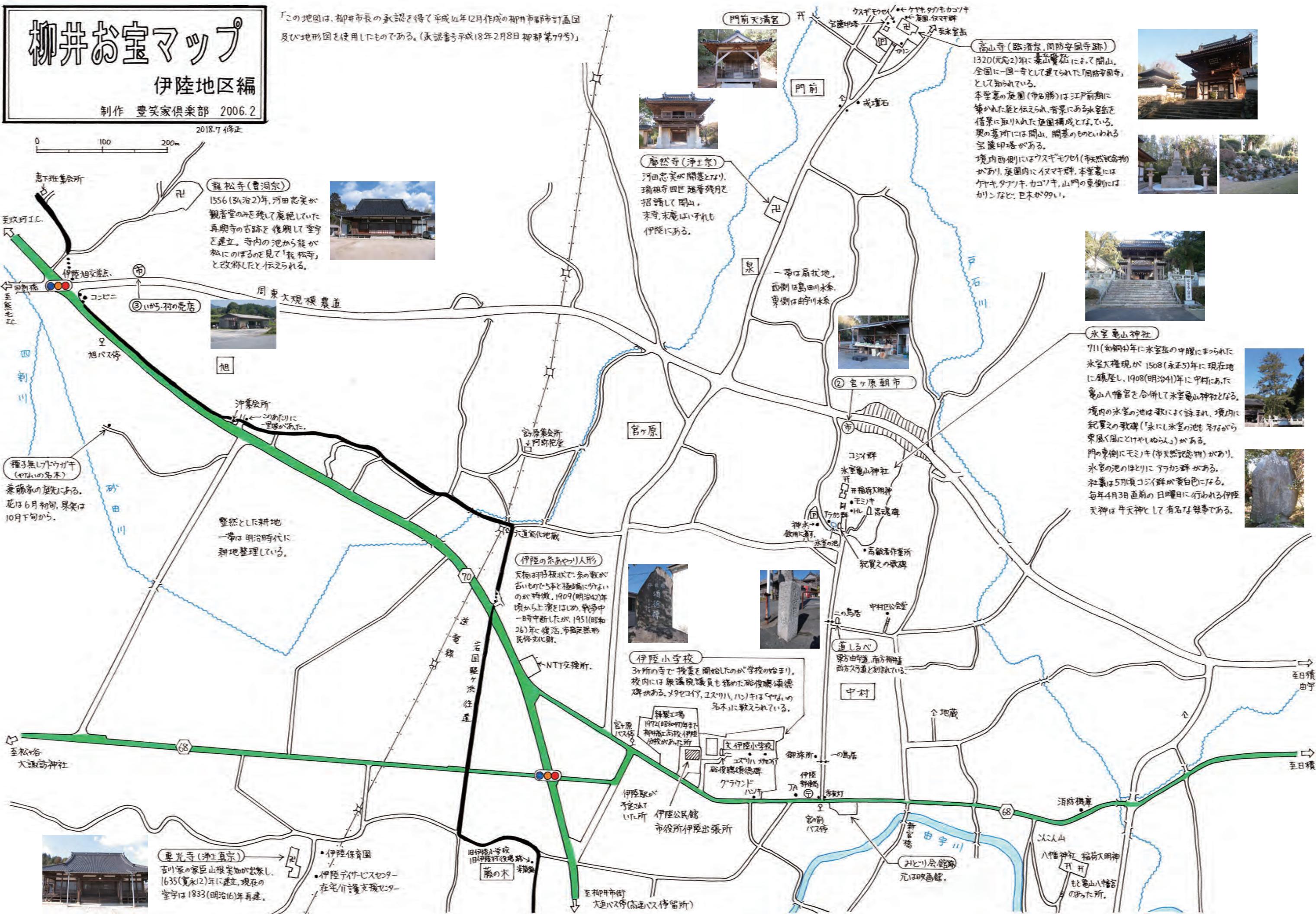
伊陸地区編

制作 豊笑家俱樂部 2006.1

「この地図は、柳井市長の承認を得て平成14年12月作成の柳井市都市計画図及び地形図を使用してしたものである。(承認番号平成18年2月8日柳井第79号)」

2018.7 修正

易正





柳井ウェルネスパーク
県民の心身の健康維持や増進を
目的として設置。アーアヒルやない
(湯水アール等), テニスコート、多目的広場等が
ある。遊具は子供に人気。



秋葉社、諫訪社、荒神社
諫訪社は頭や歯の神様として
民間の信仰を集めている。
1月7日に地神祭があり、また
3月15日、8月7日は「日ごもり」という
祭りがある。
境内に秋葉社があり、2月14日に祭



瀧田庵寺跡
県の周防部を代表する古代の寺院跡。
1897(明治30)年鉄道敷設の際に発見。
近くで発見された「和同開珎」銭や円形有孔



まれである。



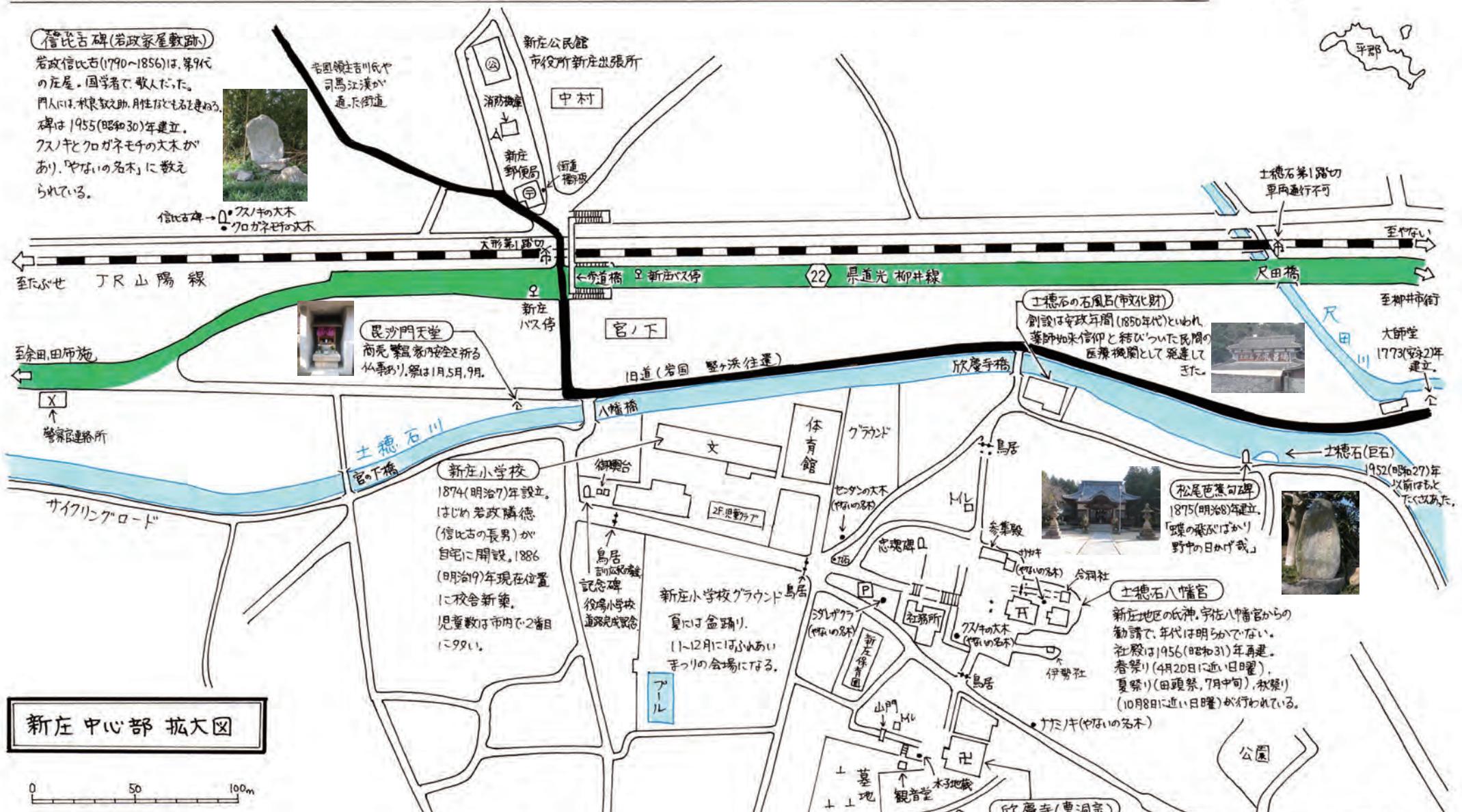
古くは真言宗の寺院で、大寺であった。山門の入口には大同4年(809年)と彫られた徳喜庵經琢碑、墓地には谷林博尊歌碑がある。本堂の前に、4代前の住職が入寺記念に植えられたと伝えるタイオウツツジの大木、山門そばには樹齢400年余りといわれるコテガシワがある。



いわれるコテガシフがある。



岩政比吉碑(岩政家屋敷跡)
岩政比吉(1790~1856)は、第9代の庄屋。国学者で、歌人だった。
門人に木村良致・助・元性などもいる。
碑は1955(昭和30)年建立。
フスギとクロガネモチの大木があり、「やないの名木」に数え
られている。



新庄中心部拡大図

A scale bar at the top shows distances from 0 to 100 meters. Below it, the title '柳井お宝マップ' is written in large, bold, black characters, followed by '新庄地区編' in smaller characters.

制作 豐富密組攝影 2006.3

新庄の長溝

岩政次郎右衛門は、京安省政家の初代、新庄第4代庄屋在任中に、新庄長溝の開発に身命を投げ打ってあたた。1689(元禄2)年に3年の歳月を要し、黒杭ハゼケ谷より余田堀に至る延長約7km(当時の灌漑用水路を完成させた。それまで干渉に悩まされてきた農民は、次郎右衛門を「水の神」とあがめるようになつた。300年以上経た現在でも長溝は使われており、新庄の水田を潤している。墓前では毎年8月19日長溝祭が行われている。また5月には溝ごえの作業を毎年実行が続いている。



新庄へ農業用水を導いたため取水口、黒杭川ダム建設に伴い、460m上流の現在地に移動。黒杭川上流で古い井戸水没。



この碑の下のあたりがものとの取水口で、黒杭川ダム建設時に移動。1976(昭和51)年に長溝水利組合によて建立された。

↑至同東



柳井お宝マップ

新庄地区編

制作 豊笑家俱樂部 2006.2

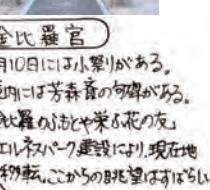
2017.10.1修正

0 100 200 300 400 500m



(竜岩神社(十社攝現社)) →开
境内に巣岩という岩があつたことから名付けられる。祭神は伊弉諾尊・玉命、事解男命の熊野神。祭日は4月9日、10月9日で、現在では7月初旬に田頭祭(夏祭)が行われている。1448(文永5)年勧請と伝えられている。

端口壁道(トンネル)



1945(昭和20)年9月の台風で被害を受け、2年後に着手、3年3ヶ月の難工事の末、1950(昭和25)年完成。水路の底盤で漏水が減り、壁道内の涌き水もかかり、用水路は復旧した。



端口山峠

藩役は長溝工事に失敗したら首はねて端口峠にさらさと言ったといふ。



→开

トネル入口

→开

トネル

→开

柳井お宝マップ

余田地区編

制作 豊笑家俱楽部 2006.2

2020.5 修正



0 500 1000m

岩国市

伊陸

佐木福太郎碑 松ヶ谷 68 至伊陸宮ヶ原

至向東

至田布施町



永福寺の半鐘
1790(寛政2年)に柳井の
鋏物師、片山芳美術、齊藤
伊兵衛がつくしたもの。

至久賀神社

保山川

公道

保山川

柳井お宝マップ

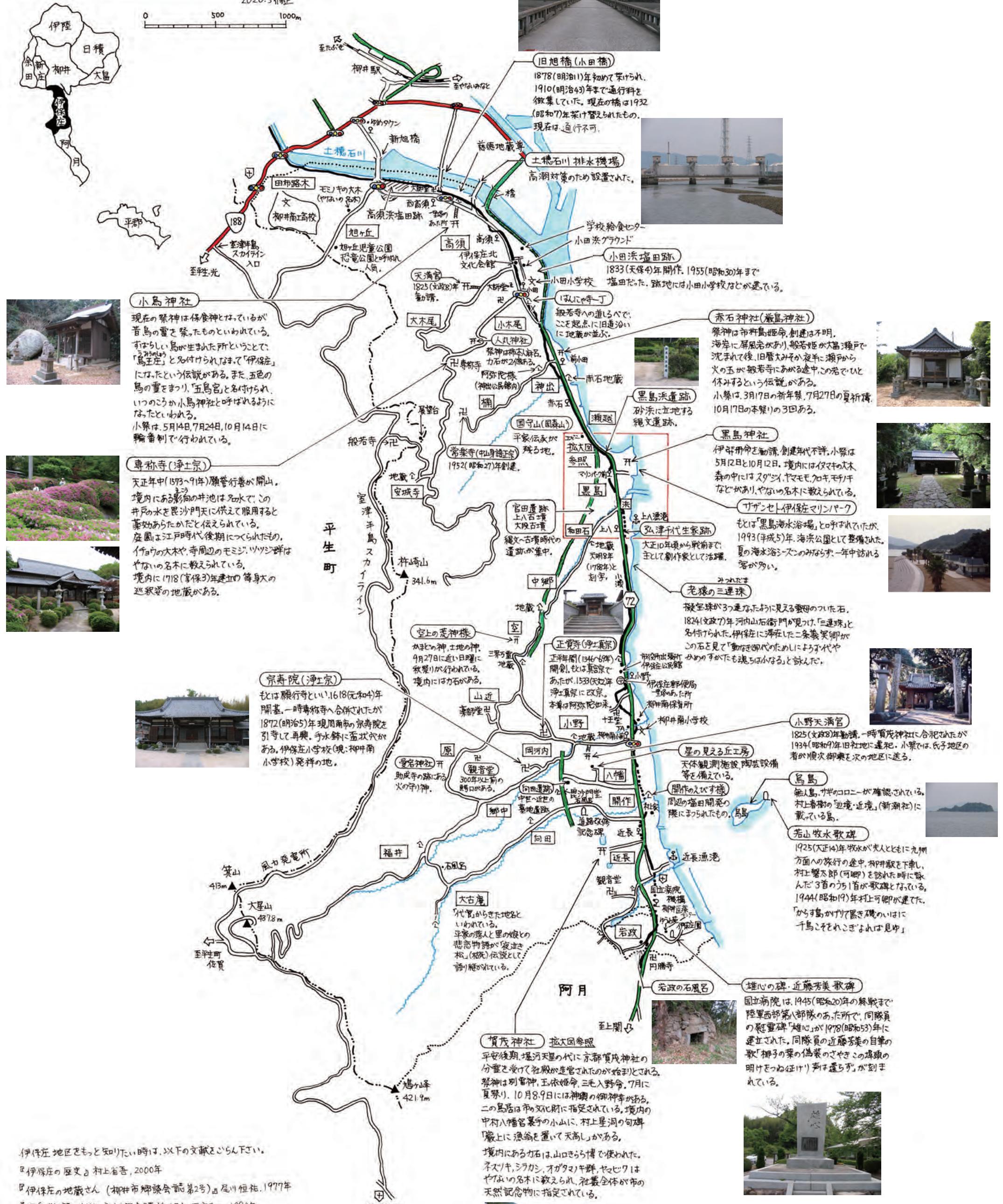
伊保庄地区編

制作 豊笑家俱楽部 2006.2

2020.5修正



0 500 1000m



伊保庄地区をもっと知りたい時は、以下の文献をごらん下さい。

『伊保庄の歴史』村上省吾, 2000年

『伊保庄の地蔵さん』(柳井市郷謡会誌第2号)山尾川恒祐, 1977年

『黒島物語』(柳井市郷謡会誌第18号)国宗久一, 1994年

『巻頭記 賀茂神社』(柳井市郷謡会誌第21号)中村正樹, 1997年

『おしゃせ』伊保庄公民館, 2000年~

『柳井図書館叢書第十九集 中世の柳井について』由柳井市立柳井図書館, 2004年

「この地図は、柳井市長の承認を得て平成14年12月作成の柳井市都市計画図及び地形図を使用したものである。(承認番号平成18年2月8日柳井市第79号)」

柳井お宝マップ

伊保庄地区編

制作 豊笑家俱樂部 2006.2

2020.5修正

0 50 100m

「この地図は、柳井市長の承認を得て平成12年2月・平成14年3月、平成14年9月作成の柳井市都市計画図及び地形図を使用したものである。(承認番号 平成18年2月8日 柳都第79号)」



サンセット伊保庄マリンパーク

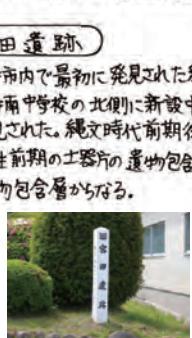
もとは「黒島海水浴場」と呼ばれていたが、1993(平成5)年に海浜公園として整備され改称される。前面に大島瀬戸、北東側に琴石山が見渡せる景勝地で、夏の海水浴シーズンのみならず、一年中訪れる客が多い。



- ① 弁財天: 天保(1830~43年)に建立されている石造の小祠。
- ② 胡子さま: 1890(明治23)年、海上安全と豊漁を祈る建立。
- ③ 平和塔: 1934(昭和9)年に忠魂碑として建立され、1950(昭和25)年平和塔に改められる。
- ④ 薬師如来堂: 南陽42番札所。
- ⑤ 一畑薬師石碑: 南陽36番札所。
- ⑥ 薬師如来: 石仏。
- ⑦ 大師堂: 浄土宗如意輪山淨念寺裏に防空壕あり。
- ⑧ 出征碑: 1940(昭和15)年に建立された歌碑。横に石風呂があつたが戦時に取り除かれた。

黒島は昔は島で、ウヤメガシが多く、モチキやヤマモモも多い。植生はよく保存され「魚つき保守林」の標柱がある。

⑨ 小林地蔵: 幼児をして小林徳右衛門さんが児の追善菩提と三界万善を懇むるために建立したもので、元文4年(1739年)の刻字が見える。



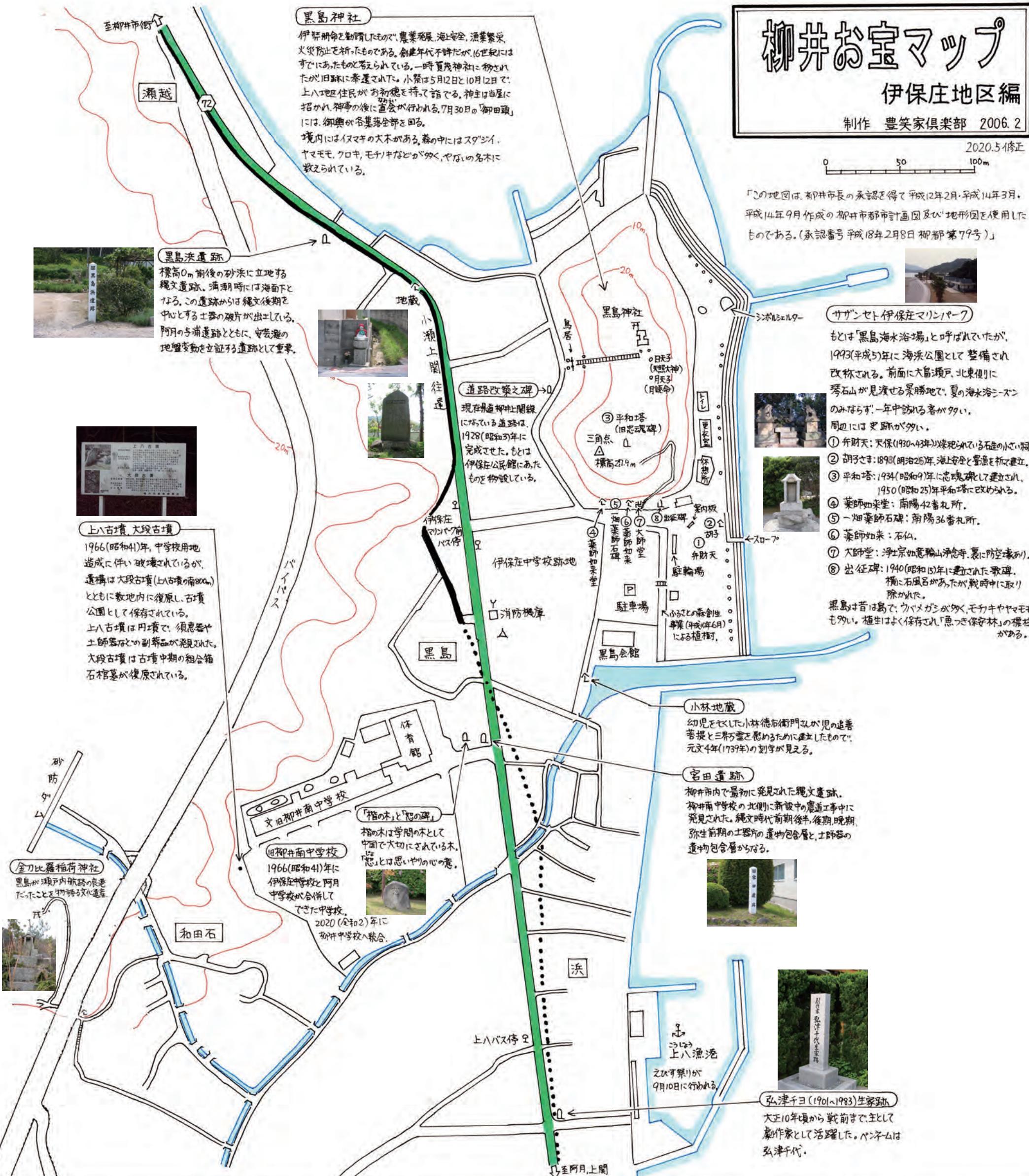
宮田遺跡

柳井市内で最初に発見された縄文遺跡。柳井南中学校の北側に新設中の農道工事中に発見された。縄文時代前期後半、後期、晩期、弥生前期の土器片の遺物包含層と、土師器の遺物包含層からなる。



弘津千ヨ(1901~1983)生家跡
大正10年頃から戦前まで、主として劇作家として活躍した。ペンネームは弘津千代。

賀茂神社拡大図



賀茂神社

平安後期、源河天皇の代に、京都賀茂神社の分霊を受けて社殿が造営されたのが始まりとされる。祭神は別雷神、玉依姫命、三毛入野命。7月に夏祭り、10月8・9日には神輿の御神幸がある。社叢全体が市の天然記念物に指定されている。



柳井お宝マップ

阿月地区編

制作 豊笑家俱楽部 2006.2

2020.5 修正

0 500 1000m



相浦賀茂神社
1353(文和2)年創建。
玉依姫命ほか50神を祀る。
祭日は9月6・7日で、6日に湯立を行い、7日に供物を供える。一帯はスダジイや群落、モッコリ、クロガネモチなどの大木がある。



旧相浦小学校
1988(昭和63)年に日阿月小学校へ統合。
1995(平成7)年に映画「さくめだみみかみ」のロケ地となた。



報恩寺(浄土真宗)
前身は円勝寺相浦庵。
1885(明治18)年、祇園の魔寺と伝えられる寺号をもつて建立美しい庭あり。



宝照庵
平家の一族門脇伊賀之助教長が建立したものであるとの伝承がある。
同陽八ヶ所第十四番札所になっている。



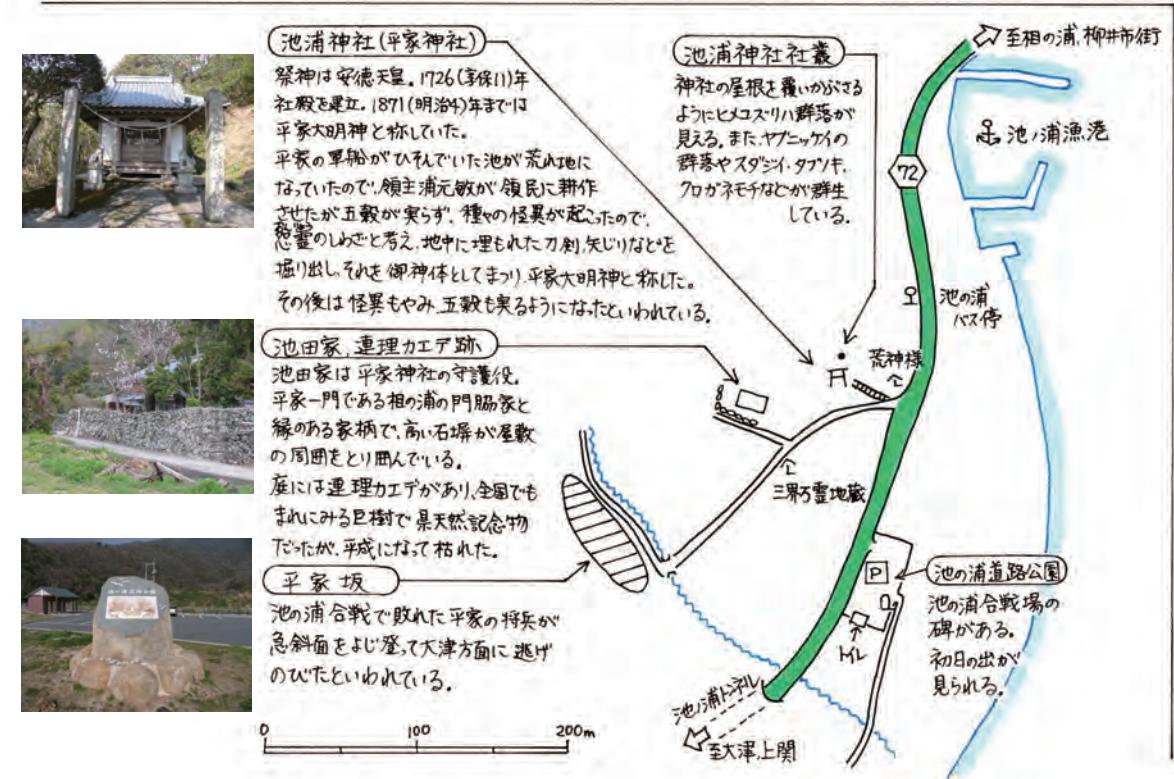
池浦神社(平家神社)
祭神は安徳天皇。1726(享保11)年社殿を建立。1871(明治4)年まで平家大明神と称していた。
平家の軍船がひそんでいた池が荒山地になっていたので、領主元敏が領民に耕作させたが五穀が実らず、種や怪異が起きたので、心靈のしめさと考え、地中に埋もれた刀剣、矢じりなどを掘り出しそれを御神体としてまつ、平家大明神と称している。
その後は怪異もやみ、五穀も実るようになったといわれている。



池田家連理カエデ跡
池田家は平家神社の守護役。
平家一門である相浦の門脇家と縁のある家柄で、高い石壙が星歎の周囲をとり囲んでいる。
庭には連理カエデがあり、全国でもまれにみる巨樹で県天然記念物だが、平成になって枯れた。



平家坂
池の浦合戦で敗れた平家の将兵が急斜面をよじ登って大津方面に逃げたといわれている。



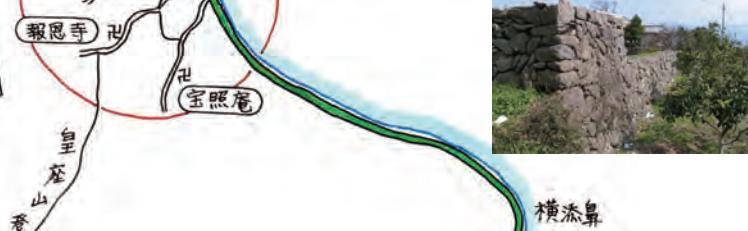
この地図は、柳井市長の承認を得て平成14年12月作成の柳井市都市計画図及び地形図を使用したものである。(承認番号平成18年2月8日柳井市第79号)



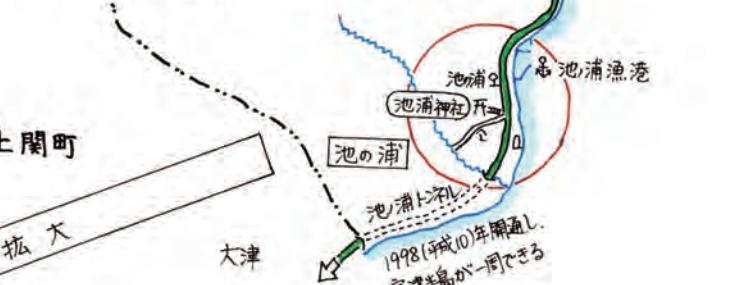
与浦遺跡
伊保庄の黒島洋遺跡とともに、海底繩文遺跡として知られている。
1971(昭和46)年に発見され、土器片、石器類が採集された。
この地域における縄文人集団の生業を示唆するとともに、地盤変動の解明にも重要な資料を提供するものとして注目されている。



相の浦
相の浦集落は、高い石壙で広い敷地を囲んでいる家が多く、迷路のような道路網などで守られた防衛的集落となっている。



池の浦
一帯は、星島の合戦に敗れた平家の軍勢の一部がたたかうして激しく戦ったといわれる古戦場。



池の浦
1998(平成10)年開通し、室津半島が一同できるようになった。

この地図は、柳井市長の承認を得て平成14年12月作成の柳井市都市計画図及び地形図を使用したものである。(承認番号平成18年2月8日柳井市第79号)

阿月地区でもと知りたい時は、以下の文献をひらん下さい。
『ほく・わたしのふるさと 阿月めぐり』 柳井市立阿月小学校, 2003年
『柳井の歴史』 柳井市史編纂委員会, 1970年
『柳井図書館叢書第十九集 中世の柳井について』 柳井市立柳井図書館, 2004年
『悲壯の第三代奇兵隊幹部 赤橋武人』 角井菊雄, 2000年



国行 離次郎の墓(1843~1866)

1843(天保14)年阿月に生まれる。
克己堂で学び、奇兵隊に入隊。
四境の役の時、第二奇兵隊第二小隊長
として大島へ出陣。24歳で戦死する。



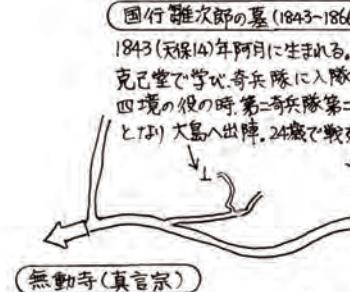
白井小助(いわい)屋敷跡(1826~1902)

1826(文政9)年萩に生れ、26歳のころ阿月に移住して浦野貞の家臣となる。第二奇兵隊の創設に尽力し、四境の役・大島口戦で総督。戊辰戦では討幕軍参謀をつとめる。維新後は平生の田舎路木に飯山塾を開いて子弟教育につとめた。



日露戦争記念凱旋門

1397(応永3)年宗順という人が開創したと伝えられている。この地方で最も古い淨土真宗の寺。境内にはホリノキの古木がある。阿月のカルタに、「やさしさは円勝寺光雲作の阿弥陀さま」とうたわれている。



無動寺(真言宗)

琳聖太子の開基と伝え、大内氏所縁の寺として鎌倉室町時代に栄えた。旧暦1月27~28日には不動縁日がある。本尊木造不動明王坐像は鎌倉時代の作と伝えられ、県の有形文化財に指定されている。また、銅製錫杖は室町時代後期の作で、市文化財に指定されている。無動寺樹林は1985(昭和60)年に県指定自然記念物に指定され、スダジイ、クスノキ、ホルトキ、カミノキ、ヒメユズリハ、イロハモミジなど多くの大木がある。

岩田みづ(1809~1899)

岩田みづは「阿月絆」を歌ったことで有名。明治中頃にはスザンナ絹をはじめとする品質で、販路は四国・九州、阪神方面に広がった。明治40年代には西洋藍の流行で藍染業者が競業して織り手がいたくなかった。



秋良貞温(敦之助)生誕地(1811~1890)

1811(文化8)年生まれ。浦野貞を補佐し、長州藩尊皇攘夷運動の先覚者。浦氏の財政の立て直しに注目。維新戦力を蓄積したことでも有名。克己堂の塾頭となりて人材の育成につとめた。



願成寺(浄土宗)

もとは真言宗の普門寺だったが、1534(天文3)年に浄土宗に改宗し、願成寺と改称されたと伝えられている。裏山には石風呂がある。



赤林武人墓

墓は柱島の西榮寺と下関の東行庵にもある。

赤林武人墓の案内板

吉毛道跡

室町時代から江戸時代にかけての埋葬跡。2007(平成19)年に調査された。



岩休寺(曹洞宗)

もとは心岳寺といわれていたが、浦氏の菩提寺となり、1648(慶安元)年に改称。2003(平成15)年に、浦氏歴代の肖像画が市に寄贈され、市文化財に指定された。



青木

青木バス停

小瀬上閑遺跡

昭和40年代まで
主要道路だった。

阿月郵便局

阿月バイパス

1987(昭和62)年に
一部完成するまで
県道だった。

東

合中

旧阿月郵便局

地蔵堂

柳井役所阿月出張所

阿月公民館

消防機庫

柳井市役所阿月出張所

阿月神明祭でおこなわれる砂浜



蛇の池(平郡三景)

海とは近いが、淡水池。
漁師や女性に呼びとめられ

「平野に漬けたい。おれして一度だけ船一杯の獲物を獲せてあげましょ」と頬みこまれ、女性は平野に漬けし網でかみると大量の魚が獲れた。女性の言葉をほざいてこぼ目で入れ替わる姿と、なにという仮説、開くやうす

赤い石が御神体となり、いろいろ
特に腰から下の病に効かとい
う効能は知れ渡っている。
旧暦6月10日(こよ赤石祭)に
あり、多くの参拜客でござわ

西日本一のケーリンドック 井手塚洋都工場

100

千代明神
千代明神の一つ。

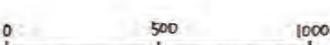
風無

A small white rectangular stone monument stands in a garden setting. It features vertical columns of Japanese calligraphy. The main inscription reads '悲雲子' (Biyūshi), which is the pseudonym of the famous Japanese poet Matsuo Bashō. Below this, there is a smaller inscription, likely indicating the date of his death or the name of the place.

掛津島
▲
200.6m

(掛津島)
面積0.8km²の無
人島。今まで船があり、
えられていたとい
う植物が数々)

久島、昭和20年代
ナリミ代やミカンも植
う。島には貴重な
あり。バフチキや
ラ群落(ココ)は
えられていらる。



柳井お宝マップ

制作 豊笑家俱楽部 2006

2020.5.18



平野地区をもと知りたい時は、以下の文献をごらん下さい。

『元取風雲』 墓古之丞 1978年

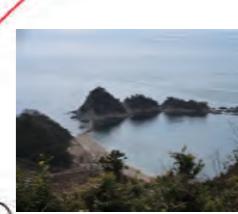
新平郵局：新平郵局編纂委員會，1995年

原田重義著「新平郡鳥史編纂會」、2004年

『民衆ふるさとの里』出一平野地区一新平郡鳥取編纂委員会、2004年

『里手集 ふるさとの思い出』-平野東地区- 新平野郷史編纂委員会、2005年

「この地図は、柳井市長の承認を得て平成14年12月作成の柳井市都市計画図及び地形図を使用したものである。(承認番号平成18年2月8日柳都第79号)」





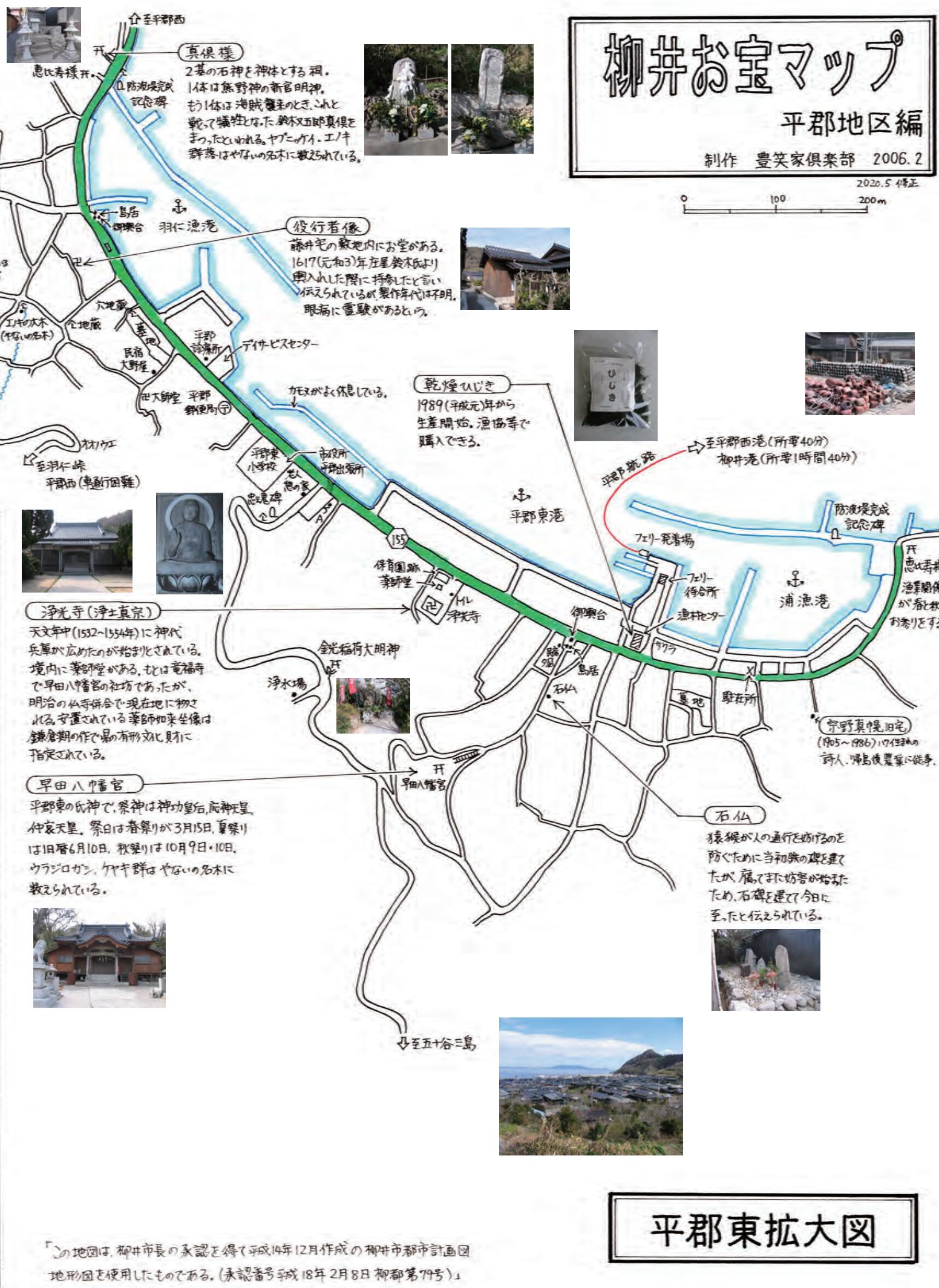
円寿寺(浄土宗)
1871(明治4)年、寺院整理により円福寺と寿現寺を合併した。
阿弥陀様がまつられ、寺内には觀音菩薩、勢至菩薩がある。
境内には魚類供養塔がある。
1772(明和9)年に建立されたもので、市指定有形民俗文化財。



防波堤ができる前は、石垣で家を守っていた。



平郡西拡大図



柳井お宝マップ
平郡地区編
制作 豊笑家俱楽部 2006.2

2005.5 修正



平郡航路
→至平郡西港(所要40分)
柳井港(所要1時間40分)



防波堤完成記念碑
至柳井港(所要40分)

「柳井真幌旧宅」
(1905~1986)の住まいの詩人、津島俊農業に從事。



平郡東拡大図

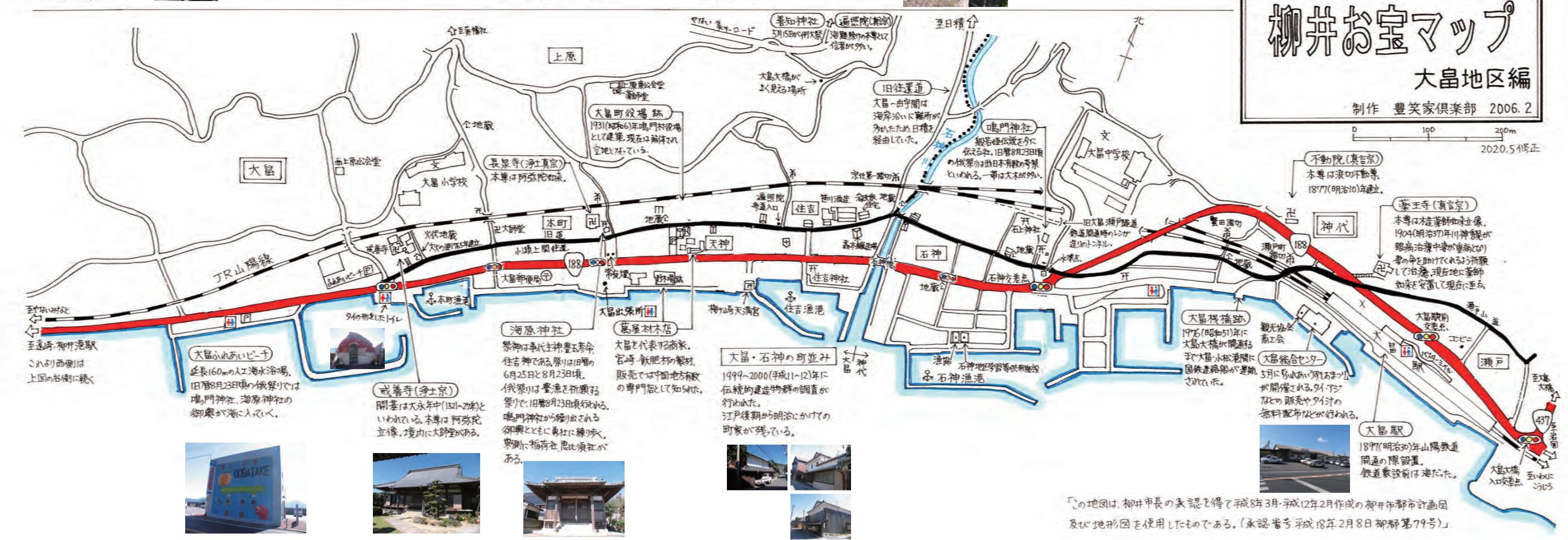
「この地図は、柳井市長の承認を得て平成14年12月作成の柳井市都市計画図地形図を使用したものである。(承認番号平成18年2月8日柳都第779号)」



柳井お宝マップ

大畠地区編

制作 豊笑家俱楽部 2006.2



○主な参考文献（もっと知りたいときは以下の文献をごらん下さい）

- 柳井市史編纂委員会『柳井市史（通史編）』柳井市, 1984
- 柳井市史編纂委員会『柳井市史（総論編）』柳井市, 1988
- 柳井市史編纂委員会『柳井市史（各論編）』柳井市, 1964
- 大畠町史編纂委員会『大畠町史』大畠町, 1992
- 上杉久吉『柳井史』, 1950
- 八幡熊治郎『明治以降の柳井史』柳井市郷談会, 1977
- 『柳井図書館叢書第一集 文政六歳・記録』柳井市立柳井図書館, 1986
- 『柳井図書館叢書第二集 玖珂郡志柳井組（岩政・守田本）』柳井市立柳井図書館, 1987
- 『柳井図書館叢書第三集 独歩文庫・小松茂美文庫目録』柳井市立柳井図書館, 1988
- 『柳井図書館叢書第四集 柳井市立柳井図書館蔵 地方資料目録I』柳井市立柳井図書館, 1989
- 『柳井図書館叢書第五集 柳井昔ばなし』柳井市立柳井図書館, 1990
- 『柳井図書館叢書第六集 柳井のうたとあそび』柳井市立柳井図書館, 1990
- 『柳井図書館叢書第七集 柳井の方言』柳井市立柳井図書館, 1991
- 『柳井図書館叢書第八集 浦滋之助日記—四境戦争を中心に—』柳井市立柳井図書館, 1992
- 『柳井図書館叢書第九集 御高札守護役 大野家文書』柳井市立柳井図書館, 1993
- 『柳井図書館叢書第十集 『大野家文書』II 当家歳々行・覚・外』柳井市立柳井図書館, 1994
- 『柳井図書館叢書第十一集 享保年黔首党事録』柳井市立柳井図書館, 1995
- 『柳井図書館叢書第十二集 岩政信比古』柳井市立柳井図書館, 1995
- 『柳井図書館叢書第十三集 周防織物沿革誌I』柳井市立柳井図書館, 1997
- 『柳井図書館叢書第十四集 周防織物沿革誌II』柳井市立柳井図書館, 1998
- 『柳井図書館叢書第十五集 周防織物沿革誌I』柳井市立柳井図書館, 1999
- 『柳井図書館叢書第十六集 周防織物沿革誌IV』柳井市立柳井図書館, 2000
- 『柳井図書館叢書第十七集 真名長者実記』柳井市立柳井図書館, 2001
- 『柳井図書館叢書第十八集 柳井地区とその周辺の狂歌栗陰軒の系譜とその作品』柳井市立柳井図書館, 2001
- 『柳井図書館叢書第十九集 中世の柳井について』柳井市立柳井図書館, 2004
- 『柳井図書館叢書第二十集 安政四年殿様御遠馬柳井御出室積普賢御参詣之記』柳井市立柳井図書館, 2004
- 柳井市長公室『柳井市勢要覧 昭和50年版』柳井市役所, 1975
- 『広報やない 市制25周年記念特集号』柳井市役所, 1979
- 柳井市企画開発部企画課『やない'81市勢要覧』柳井市, 1981
- 柳井市企画開発部企画課『市制施行30周年記念 柳井市勢要覧』柳井市, 1985
- 柳井市企画開発部企画課『市勢要覧'88やない』柳井市, 1988
- 柳井市秘書広報課『市制施行40周年記念柳井市勢要覧ヒューマンアメニティ都市』柳井市, 1994
- 『柳井フィールドワーク 2001市勢要覧』柳井市, 2001
- 『柳井市制50周年記念誌 1954~2004』柳井市役所, 2004
- 『郷土史紀行vol. 14』ヒューマン・レクチャー・クラブ, 2001
- 『郷土史紀行vol. 15』ヒューマン・レクチャー・クラブ, 2002
- 『郷土史紀行vol. 25』ヒューマン・レクチャー・クラブ, 2004
- 柳井尋常高等小学校『柳井郷土読本』柳井小学校校友会, 1934
- 柳井町商工課『商都柳井の展望』柳井町役場, 1953
- 柳井市史編纂委員会『柳井の維新史』柳井市役所, 1970
- 柳田泰次, 藤田保, 八幡熊治郎, 山本一朗, 林英美夫『歴史物語シリーズ② 周東歴史物語』瀬戸内物産(有), 1977
- 桂芳樹『改訂柳井種痘日記 周防岩国産物目録（端本）』岩国微古館, 1979
- 谷林博『ふるさとの想い出写真集明治大正昭和柳井』株式会社刊行会, 1981
- 谷林博『谷林博遺稿集』谷林チサト, 1984~1987
- 柳井市総務部総務課『柳井消防史』柳井市, 1985
- 山口県文書館『防長風土注進案』山口県立山口図書館, 1961・1963
- 広瀬喜連『玖珂郡志』マツノ書店, 1975
- 『防長地下上申 第一巻』マツノ書店, 1978
- 『享保増補村記』岩国微古館, 1989
- 柳井市教育委員会生涯学習課『柳井市の文化財』柳井市教育委員会, 1996
- 『映画ときめきメモリアルPHOTOBOOK』株式会社ワニブックス, 1997
- 福本幸夫・宮田伊津美『目で見る岩国・柳井の100年』株式会社郷土出版社, 1998
- 南敦ほか『やないの名木』柳井市, 2001
- 『ふるさとの碑』柳井市, 2003
- 『柳井市郷談会誌（第1号～第29号）』柳井市郷談会, 1976~2005
- 宮田伊津美『図説 岩国・柳井の歴史』株式会社郷土出版社, 2005
- 『わたしたちの柳井』柳井市教育委員会, 2003
- 『わたしのまち柳井再発見でくべくマップ』柳井市観光協会, 2005
- 『山口県埋蔵文化財調査報告書第80集 生産遺跡分布調査報告書 製塩』山口県教育委員会, 1984
- 『未指定文化財総合調査報告書 史跡－中世－編』山口県文化財愛護協会, 1985
- 『山口県の庭園（未指定文化財調査報告8）』山口県教育委員会, 1994
- 『山口県神社誌』山口県神社庁, 1998
- 『山口県の近代化遺産 山口県近代化遺産（建造物等）総合調査報告書』山口県文化財愛護協会, 1998
- 川口健治『ふるさと山口スケッチ探訪』ふるさと山口スケッチ探訪刊行委員会, 1986
- 川口健治・国重昌利『美しき故郷山口県東部版』株式会社藤本印刷, 2003
- 『やまぐちの文学を巡る道』やまぐち文学回廊構想推進協議会
- 谷林博『青年時代の国木田独歩』柳井市立図書館, 1970
- 『いぬいとみこ『川とノリオ』』株式会社理論社, 1982
- 松本清張『花実のない森』株式会社文藝春秋, 1975
- 国木田独歩『武蔵野』株式会社新潮社, 1993
- 木谷恭介『『お宝鑑定』殺人事件』株式会社双葉社, 1997
- 林一夫『不死蝶の誕生－卓球への偏見・侮辱と戦った少年・田舛彦介の物語』株式会社東洋医学会, 1995
- 難波和彦『箱の家に住みたい』王国社, 2000
- 『柳井市伝統的建造物群保存調査報告書』柳井市, 1976
- 『日本の町並み山陰編』第一法規, 1982
- 『重要文化財 国森家住宅修理工事報告書』重要文化財国森家住宅修理委員会, 1984
- 福本幸夫『柳井の町並み点描 やないの白壁』周南新報社, 1984
- 福本幸夫『柳井の町並み点描 柳井の江戸文化』周南新報社, 1987
- 全国伝統的建造物群保存地区協議会『町並み保存のネットワーク』第一法規, 1987
- 吉田桂二『建築の絵本 日本の町並み探求 伝統・保存とまちづくり』株式会社彰国社, 1988
- 鈴木充『日本の美術 第289号 民家と町並 中国・四国』至文堂, 1990
- 谷沢明『瀬戸内の町並み－港町形成の研究』株式会社未来社, 1991
- 『柳井市伝統的建造物群保存地区街路トレンチ調査概報』柳井市埋蔵文化財調査委員会, 1992
- 吉田桂二『歴史の町並み事典 重要伝統的建造物群保存地区 総集』株式会社東京堂出版, 1995
- 柳井市教育委員会生涯学習課『柳井のまちなみ』柳井市教育委員会, 1997
- 文化庁『歴史的集落・町並みの保存－重要伝統的建造物群保存地区 ガイドブック』第一法規, 2000
- 吉田桂二『歴史遺産日本の町並み108選を歩く』株式会社講談社, 2001
- 『柳井市古市金屋伝統的建造物群保存地区見直し調査報告書』柳井市教育委員会, 2001
- 『別冊太陽 日本の町並みII 中国・四国・九州・沖縄』株式会社平凡社, 2003
- 国重昌利・角田誠『白壁の町柳井』株式会社チャオ, 2003
- 『町並みかわら版』柳井市白壁の町並みを守る会
- 『瑞相寺の歴史』浄土宗放光山大超院瑞相寺, 1992
- 『柳井川MAP』柳井川がんぎを知っちょって会, 2004
- 『史跡柳井茶臼山古墳－保存整備事業発掘調査報告書－』柳井市教育委員会, 1999
- 『史跡柳井茶臼山古墳－保存整備事業保存整備報告書－』柳井市教育委員会, 1999
- 『日積公民館叢書第一集 日積地方の田植歌』柳井市日積公民館, 1992
- 『日積公民館叢書第二集 日積の昔ばなし』柳井市日積公民館, 1992
- 『日積公民館叢書第三集 多賀神社しらべ』柳井市日積公民館, 1993
- 『日積公民館叢書第四集 大帶姫八幡宮境内石造物』柳井市日積公民館, 1995
- 『日積公民館叢書第五集 日積地区史』柳井市日積公民館, 1997
- 『日積公民館叢書第六集 古跡探訪』柳井市日積公民館, 2001
- 『中院遺跡』山口県埋蔵文化財センター・柳井市教育委員会, 2003
- 『濡田廃寺跡I－第一次発掘調査概報－』山口県文化財愛護協会, 1991
- 『濡田廃寺跡II－第二次発掘調査概報－』山口県文化財愛護協会, 1992
- 『通称ただのぶさん－柳井のルーツを訪ねて－』ただのぶさん保存会, 2005
- 福本幸夫『「長溝」三百年記念誌』新庄長溝水利組合, 1989
- 『柳井市新庄地区史』柳井市史編纂委員会, 1959
- 村上省吾『伊保庄の歴史』, 2000
- 『おしらせ』伊保庄公民館
- 『山口県柳井市与浦遺跡調査概報（第2報）』山口県柳井市伊保庄地区遺跡調査概報』柳井市教育委員会, 1973
- 『阿月維新志士之碑除幕式記念出版』明治百年阿月顕彰会, 1969
- 角井菊雄『悲運の第三代奇兵隊総管 赤穂武人』防長新聞社, 2000
- 『月刊 松下村塾 Vol. 7 吉田松陰と山県有朋・赤穂武人』株式会社ザ・メディアジョン, 2005
- 『源平合戦ゆかりの地』柳井市観光協会, 2005
- 『ぼく・わたしのふるさと 阿月めぐり』柳井市立阿月小学校, 2003
- 境吉之丞『山口県柳井市 平郡島史』境康喜, 1978
- 『1985年度調査報告書「常民」』山口県柳井市平郡島調査報告書』中央大学民俗研究会, 1987
- 『新平郡島史』新平郡島史編纂委員会, 1995
- 『写真集 ふるさとの風景－平郡西地区－』新平郡島史編纂委員会, 2004
- 『写真集 ふるさとの思い出－平郡西地区－』新平郡島史編纂委員会, 2004
- 『写真集 ふるさとの思い出－平郡東地区－』新平郡島史編纂委員会, 2005
- 『大畠・石神地区伝統的建造物群調査報告書』大畠町教育委員会, 2001
- 『町制三十年の歩み』大畠町, 2001
- 各種パンフレット類

朝市 (伊陸)	高山寺 (伊陸)	昔の 柳井駅前の時計 (柳井)	白壁の町並み (柳井)	大蒂姫八幡宮 (日積)
かつての かけ出し家屋 (柳井)	石井ダムパーク (柳北)	雁木 (柳井)	沖見灯籠 (柳井)	かれいとう437の所にあたる 旧大里小学校 (日積)
黒杭川ダム公園 (柳北)	旧周防銀行 本店 (柳井)	柳井天神祭 (柳井)	むろやの園の油締め具 (柳井)	湘江庵 (柳井戸) (柳井)
平郡みかん (平郡)	柳井ウェルネスパーク (新庄)	南山神社の 八閨神樂 (伊陸)	亥の子 (柳井)	松尾芭蕉句碑 (柳井)
愛宕地蔵尊 (柳井)	流蛭子社 (余田)	岩政次郎右衛門奥都城 (新庄)	日曜朝市 (柳井)	琴石山 (柳東・日積)
余田公民館 (余田)	「カニ注意」看板 (柳井)	專称寺庭園 (伊保庄)	茶臼山古墳 (柳東)	大島大橋 (大島)
サガンセト伊保庄マリンパーク (伊保庄)	やまぐちフラワーランド (新庄)	今は無い 金魚ちゃんの ボスト (柳井)	裸島 (柳東)	ひじき (平郡)
余田臥龍梅 (余田)	阿月神明祭 (阿月)	賀茂神社 (伊保庄)	五十谷三島 (平郡)	岩尾の滝 (大島)
相の浦の石塁 (阿月)	克己堂の門 (阿月)	タコっぽ (平郡)	月性立像 (大島)	タイの形をしたトイレ (大島)



制作：豊笑家俱樂部

〒742-0035

山口県柳井市中央二丁目 2番12号 武居ビル2階
TEL 090-3375-6051 FAX 0820-23-7201

この地図は、社団法人中国建設弘済会の「平成17年度地域づくり等
助成事業」により制作いたしました。
お気づきの点、がありましたら上記へご連絡をお願いいたします。
無断転載を禁止いたします。

